

北陸ブロックの社会資本の重点整備方針  
市町村提案の整理について



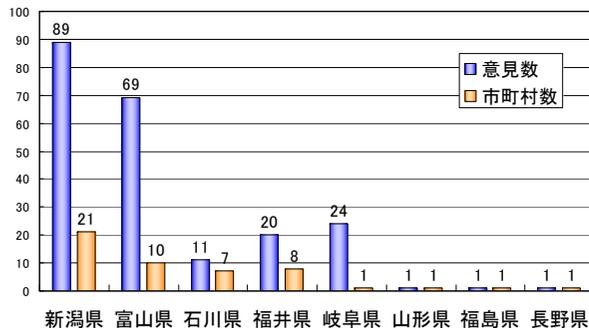
# 北陸ブロックの社会資本の重点整備方針 市町村意見提案結果(要旨)

## 市町村意見提案の概要

- 北陸ブロック社会資本重点整備方針について
- 対象: 北陸地方整備局管内市町村  
(新潟県、富山県、石川県、福井県、山形県、福島県、長野県、岐阜県)
- 時期: 4月1日～4月28日

## 意見総数

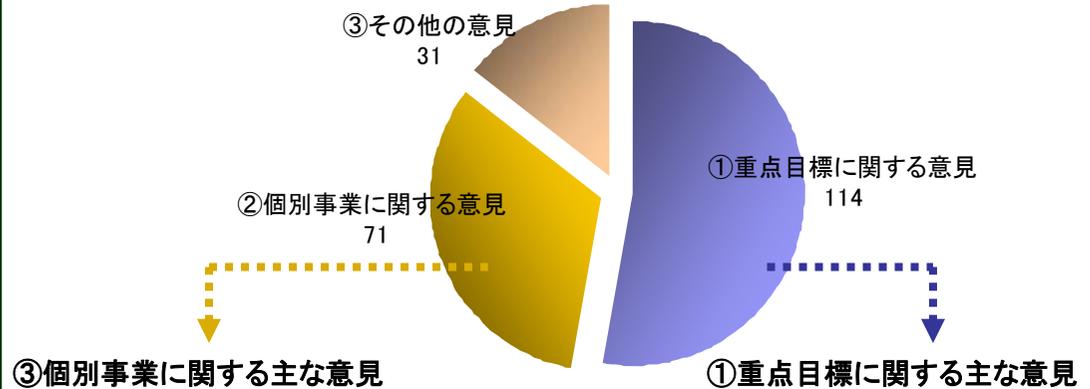
県別の意見総数は下表に示す通りであり、合計で50市町村から216の意見が寄せられている。



※意見には、平成20年9月19日付けで国土交通省道路局長より依頼の「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」において既に提案されたものと同じ内容と記載のあるものには、当該意見を含む。

## 意見の分類

意見の内容については、重点施策について記すものが全体の約53%を占めるが、個別事業に関するものも約33%と比較的多かった。



### ③個別事業に関する主な意見

#### 高規格幹線道路の整備

日本海沿岸東北自動車道や中部縦貫自動車道の整備促進に関する重点的な取組が必要 等

#### 地域高規格道路の整備

金沢能登連絡道路、上越魚沼地域振興快速道路など地域間の道路網整備を重点的に推進する。 等

#### 河川改修の推進

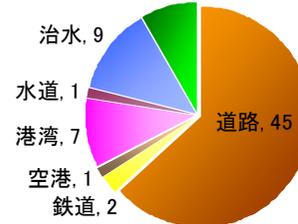
庄川直轄河川築堤事業などの水害対策に関する取組を重点的に推進すること。 等

#### 港湾の整備・活用

環日本海交流拠点である新潟港や伏木富山港の整備促進等

#### 【個別事業分野の分類】

道路分野に関するものが多く、全体の60%以上を占める。



### ①重点目標に関する主な意見

#### 砂防対策の推進

大規模土砂災害に対する危機管理体制の充実を図ることが重要 等

#### 高速交通ネットワークの有効活用

東海北陸道開通による観光施設へのアクセス道路整備 等

#### 観光の取組への支援

観光情報のバリアフリー化の取組が必要 等

#### 冬季(積雪)対策

克雪住宅や、道路の流雪溝や堆雪帯の確保 等

#### 河川改修

平常時から河川の整備・維持管理を行うことが重要 等

# (参考) 北陸4県の意見内容等

## 1. 重点方針に関する意見

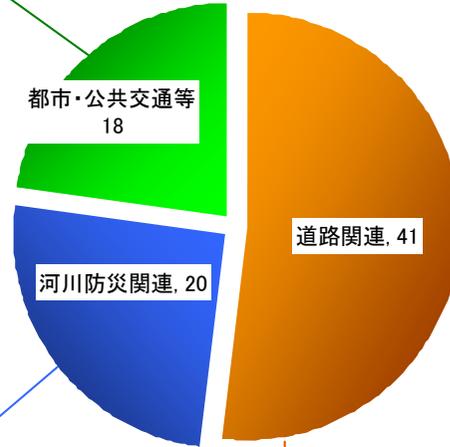
### ■都市・公共交通等に関する意見

公共交通、観光・産業、都市整備及び環境の各分野がほぼ同数。

意見		数
公共交通	新幹線整備促進	1
	その他の公共交通整備	3
観光・産業	エネルギー関連産業の振興	1
	企業立地の促進基盤整備	1
	観光の取り組みへの支援	2
都市整備	新幹線新駅周辺の整備	1
	公園整備	1
	良好な生活環境・景観の形成	1
環境関連	個性的な地域づくり	2
	小水力発電の推進	1
	省CO2に対する取り組み	1
	下水処理の汚泥の削減	1
その他(他ブロック)への提案	1	1

### 【分野分類】

道路に関するものが、全体の約半数を占める。



### ■河川・防災に関する意見

河川改修、内水対策、砂防対策といった防災上のハード対策への意見が多い。

意見		数
治水対策	河川改修の推進	5
	水系による一体的な管理	1
	都市部における内水対策	4
堤防施設等の耐震化	2	
砂防対策の推進	6	
「寄り回り波」に関する整備促進	1	
自然環境に配慮した海岸施設の整備・補修	1	

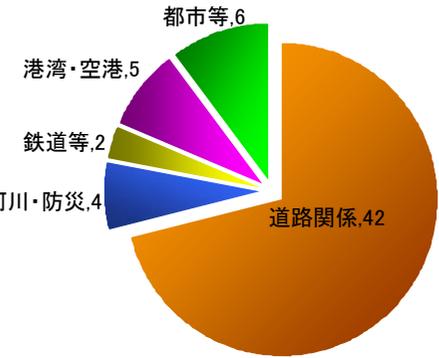
### ■道路に関する意見

多岐にわたり意見が提案されており、特にブロック内外との交流の推進に資する道路への期待が高い。

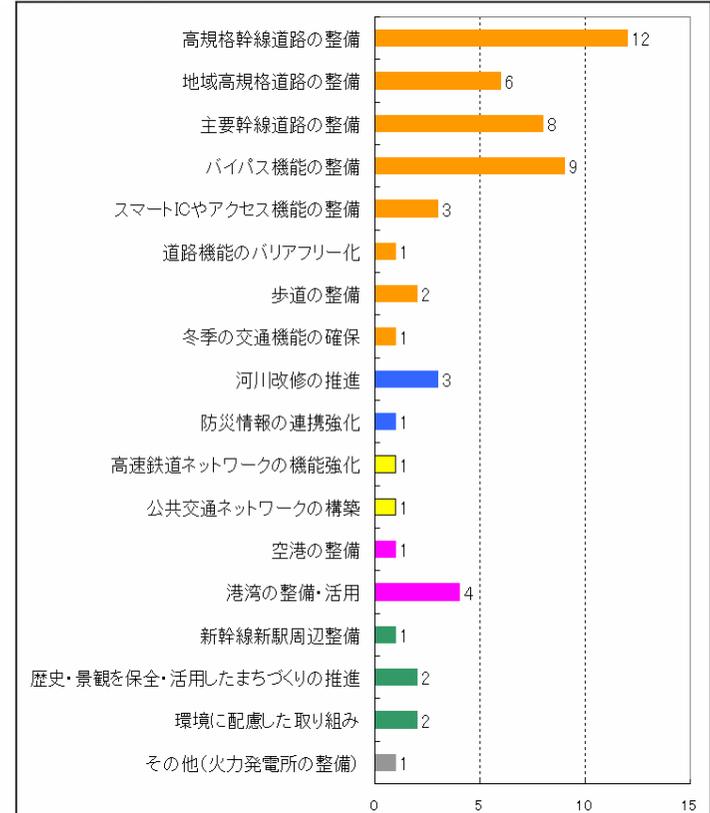
意見		数
交流機能の推進	高速交通ネットワークの有効活用	6
	他ブロックとの広域交流のための道路機能の整備	2
	(ブロック内)地域間交流の推進のための道路機能の整備	4
	医療機関へのアクセスの確保	2
安心の確保	危機管理(人災・テロ含む)に配慮した取り組み	4
	渋滞対策	2
道路構造等に関するもの	地域性の重視	1
	バリアフリー化	4
	冬季(積雪対策)	3
交通安全対策	5	
維持管理に関するもの	ストックの長寿命化	3
	きめ細かな維持管理の推進	5

## 2. 個別事業に関する意見

道路関係の意見が多い。また、港湾・空港への意見は、重点方針に関しては少なかったが、個別事業では意見が寄せられている。



### 【意見内容】



「地方ブロックの地方重点方針に対する意見・提案」に対する対応方針

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	長岡市	15202-1	地方の住民が安全で安心して暮らしていくための道路整備や維持・補修に支障が生じないよう地方に必要な道路予算の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に威力を発揮する広域幹線道路のネットワーク化</li> <li>・振動・騒音対策</li> <li>・高齢者や身体障害者の歩き易い快適な歩行空間整備</li> <li>・日常的な交通渋滞の解消</li> <li>・市街地の道路のサービス向上</li> <li>・高齢者の運転特性に配慮した道路設計</li> </ul>		-	意見・提案理由については重点方針の各所に反映。 なお、予算の確保や一般財源化の制度設計については、全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	長岡市	15202-2	地方の目指す将来像の実現に向けた一般財源化の制度設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季における生活道路の確保</li> <li>・適正な維持管理によるサービスレベルの維持 等</li> </ul>				平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	長岡市	15202-3	地域活力の向上 既存高速道路ネットワークの有効活用（長岡南越路スマートIC、長岡北スマートIC（仮称）、大積PAスマートIC（仮称））	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃川渡河部に集中する交通の分散およびアクセス向上</li> <li>・観光資源へのアクセス向上による周辺地域の活性化</li> <li>・大規模災害時における物流ネットワークの確保</li> <li>・リダンダンシー効果による事前通行規制区間の回避</li> <li>・救急医療搬送の効率化、定時制の確保による医療格差の是正</li> <li>・広範な市域に対応する高速幹線道路の実現</li> <li>・事業所におけるBCP支援</li> <li>・幹線道路の分担率向上による死傷事故率の低減</li> </ul>	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」 地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	9 19	提案意見を踏まえ「三大都市圏との交流の拡大を北陸地方全域の活力に繋げる高速交通ネットワークの整備を進める。」ことを記載し、主要事業の「地域活性化IC、スマートIC(ETC専用)の整備」を記載。 なお、長岡南越路スマートICについては主要事業として記載。 他2 ICについては、未事業化のため、未記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	長岡市	15202-4	都市交通の快適性、利便性の向上 長岡東西道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信濃川に架かる橋の交通混雑の緩和</li> <li>・渋滞の軽減によるCO2削減</li> <li>・開発拠点と交流拠点を結ぶことによる、開発拠点への支援</li> <li>・拠点都市交通ネットワークの整備による、近隣市町村等の連携強化</li> <li>・信濃川によって分断されている東西市街地の連絡性向上</li> <li>・救急医療搬送の効率化、定時制の確保による医療格差の是正</li> <li>・大規模災害時における物流ネットワークの確保</li> </ul>	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ「三大都市圏との交流の拡大を北陸地方全域の活力に繋げる高速交通ネットワークの整備を進める。」ことを記載し、主要事業の「地域高規格道路の整備」を記載。なお、長岡東西道路については主要事業として記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	長岡市	15202-5	都市交通の快適性、利便性の向上 地域活力の向上 信濃川流域広域幹線道路 長岡東西道路(左岸バイパス)	・長岡広域都市圏における30分交通圏の形成 ・信濃川橋梁部の交通量、混雑度の軽減、市街地内の平均速度の向上 ・日常生活交流圏の拡大による産業、教育、文化、医療分野の相互交流の促進 ・信濃川橋梁部への適正な交通分散による交通渋滞の解消	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「都市間及び都市と農山漁村間との交流・連携を高める交通基盤を整備し、都市サービスや多様な自然を同時に享受できる生活環境を実現する。」ことを記載。 なお、長岡東西道路については重点目標1-①の主要事業として記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	長岡市	15202-6	少子高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 バリアフリー歩行者空間ネットワーク（東幹線1号線、東幹線64号線ほか）	・道路利用者の立場での使いやすい歩道整備 ・高齢者や身体障害者等のだれにとっても快適な歩行空間整備 ・冬季バリアフリー(消雪施設)による、一年を通じて利用しやすい歩行空間の確保	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「交通結節点並びに都市公園や公共性の高い建築物、住宅のバリアフリー化を進め、誰もが安全・安心に暮らせる環境の実現を図る。」ことを記載。 なお、個別・具体の都市計画道路については原則として記載しない。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	長岡市	15202-7	都市交通の快適性、利便性の向上（都）横山亀貝線	・鉄道断面における交通渋滞の緩和 ・鉄道によって分断されている、市街地の連絡性の向上 ・拠点都市交通ネットワークの整備による近隣市町村との連携強化 ・渋滞の軽減によるCO2削減	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標① 「快適な生活空間の形成と都市の再生」	11	提案意見を踏まえ「踏切による交通渋滞や地域分断を解消するため、鉄道の高架化や道路と鉄道の立体交差化等を進める。」ことを記載。 なお、個別・具体の都市計画道路については原則として記載しない。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	長岡市	15202-8	① 堤防の新設や改築、河道掘削などにより、治水安全度の確保を重点的に実施すること。	地球温暖化の影響などによる自然災害リスクの増大がますます懸念される中で、東北ブロックの目指すべき将来像に照らして、下記のとおり治水に関する課題があるため。 ① 河川整備基本方針で定める河道分配流量(計画高水流量)に対する、堤防の整備が不十分である。(信濃川中流区間の整備率は約49%)	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	14	提案意見を踏まえ「風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪(高波)災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み、厳しい自然環境の中で人々の生活の安全・安心を確保」することを記載。なお、主要事業として「河川整備」を記載。	
新潟県	長岡市	15202-9	② 堤防の質的整備を図るため、速やかに堤防詳細点検を実施し、安全性の確保に取り組むこと。	② 河川の堤防は、長い歴史の中で被災の都度、逐次強化されたものであり、構造的に検討して設計されているものではない。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「堤防等の河川管理施設、砂防設備、海岸保全施設、防災拠点施設の耐震化・・・を推進する。」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	長岡市	15202-10	③ 大河津可動堰改築事業に引き続き、大河津分水路の抜本的改修に取り組むこと。	③ 信濃川の大河津分水路では、上流の信濃川中流区間に比べ分水路区間の流下能力が低く、上下流バランスが崩れており、政令指定都市新潟市を氾濫原に有している。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	14-15	提案意見を踏まえ、重点戦略に「風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪（高波）災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み、厳しい自然環境の中で人々の生活の安全・安心を確保」することを記載。なお、「特定構造物改築事業」：大河津可動堰改築を主要事業として記載。	
新潟県	長岡市	15202-11	④ 内水被害の著しい地域においては、必要に応じて内水対策を実施すること。	④ ゲリラ豪雨の発生頻度が増加傾向にある中で、内水被害が懸念されている。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「都市機能の麻痺による社会への影響が大きい都市型水害に対して、下水道整備と都市河川事業との連携を強化し、安全度を向上させる。」ことを記載。	
新潟県	三条市	15204-1	市街地の湛水区域における効果的な内水対策に関する重点的な取組みが必要	平成16年に発生した「7.13新潟豪雨水害」に伴う河川改修事業が概ね完成したが、未だ降雨時において市街地の湛水被害が多く発生しており、市街地の浸水被害の軽減は安全・安心に暮らせるまちづくりの推進につながる。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「都市機能の麻痺による社会への影響が大きい都市型水害に対して、下水道整備と都市河川事業との連携を強化し、安全度を向上させる。」ことを記載。	
新潟県	三条市	15204-2	国道8号栄拡幅に関する重点的な取組みが必要	本路線は、関東圏、中部圏を結ぶ幹線道路であり、地域の産業・経済を支えるうえで最重要路線であるが、当区間は狭隘で円滑な物流を確保できない状況にあり、交流・連携の活性化を支えるネットワークの整備が重要な課題となっている。			休止中の事業のため未掲載	(平成20年10月22日付け国土交通省道路局長宛にて提出したものと同一。)
新潟県	三条市	15204-3	国道403号整備促進(三条北バイパス)に関する重点的な取組みが必要	本路線は、既存道路が狭隘で交通量の増加により飽和状態となっており、救急医療機関へのアクセス道路としても早急にバイパスの整備が望まれている。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「都市中心部へのアクセス性を高める交通基盤の整理を促進する。」ことを記載し、あわせて主要事業として「主要幹線道路の整備」を記載。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	(平成20年10月22日付け国土交通省道路局長宛にて提出したものと同一。)

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	三条市	15204-4	国道289号(八十里越)通行不能区間の解消に関する取組みを重点的に推進すること	新潟県三条市と福島県只見町を結ぶ国道289号(八十里越)は、日本海側と太平洋側を結ぶ重要道路であるが現在も通行不能区間のままである。東北圏及び関東圏を結ぶ格子状骨格道路として重点的に整備されることにより、産業・経済・文化等の発展に大きく寄与することが期待される。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18 13	提案意見を踏まえ「北陸地域内外との交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。」ことを記載。 なお、国道289号(八十里越)については重点目標3-③の主要事業として記載。	(平成20年10月22日付け国土交通省道路局長宛にて提出したものと同一。)
新潟県	柏崎市	15205-1	【東北ブロック(圏域)の目指すべき将来の姿(案)について】 東北ブロックは、柏崎羽羽や福島など多くの原子力発電所が立地するわが国の重要なエネルギー供給地域であり、それを強みとした社会資本の整備・地域振興や産業の振興等に関する取組みを重点戦略に盛り込むことが必要である。	産業や生活の不可欠なエネルギーの安定供給は国家的な課題であり、それに貢献する地域において関連産業をはじめとする諸産業や地域の振興を図ることが重要であるとする。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ「産業活動の活性化を支援するための工業団地等へのアクセス、情報通信基盤の整備や食料、水、エネルギーの安定供給につながる基盤の整備を進める。」ことを記載。	提案原文は、東北ブロック
新潟県	柏崎市	15205-2	【東北ブロック(圏域)における社会資本の重点事項(案)◆広大な東北の交流・連携の活性化を支える「縦」、「横」のネットワーク整備の推進について】 格子状骨格道路については、太平洋側をはじめ他のブロックとの連携や交流の拡大に向けて、縦貫道路や横断道路の整備に取組む必要がある。	例えば、国道8号柏崎バイパスや国道353号などの縦貫及び横断道路整備が必要であるとする。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「北陸地域内外との交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。」ことを記載し、あわせて主要事業として「高規格幹線道路の整備」「地域活性化IC、スマートIC(ETC専用)の整備」を記載。	提案原文は、東北ブロック
新潟県	柏崎市	15205-3	【東北ブロック(圏域)における社会資本の重点事項(案)◆広大な東北の交流・連携の活性化を支える「縦」、「横」のネットワーク整備の推進について】 高速鉄道ネットワークについては、東北新幹線・上越新幹線の機能強化のほか、特に日本海縦貫高速鉄道交通体系の整備に取組む必要がある。	東北ブロックでは、日本海側の鉄道交通体系が脆弱であり、また、北陸新幹線の開業により上越新幹線の機能や利便の低下が懸念される。したがって、既存の新幹線の機能強化とともに、北陸新幹線と併せて、東北から北陸・近畿に至る日本縦貫高速鉄道交通体系の整備が必要であるとする。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	17	高速鉄道については「整備新幹線については、政府・与党申合せ等に基づき、着工区間の着実な整備を進めるとともに、これ以外の区間についても所要の事業を進める。」ことを記載。	提案原文は、東北ブロック

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
新潟県	柏崎市	15205-4	【東北ブロック(圏域)における社会資本の重点事項(案)◆あらゆる災害に強く暮らしを守る社会資本整備の推進について】 災害対応においては、自然災害に加えて、原子力防災の観点も加えて、緊急避難路・輸送路の整備に取組む必要がある。	例えば、柏崎刈羽原子力発電所における国道352号など、万一の場合に備えた道路整備が必要であると考える。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見も踏まえ「 <u>迅速な復旧・復興を支援するために、緊急輸送道路等の橋梁の耐震補強、救援や支援活動を支える幹線道路網の形成、港湾の岸壁や空港における耐震強化等の整備を進める。</u> 」ことを記載。	提案原文は、東北ブロック
					地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の形成」 地方重点目標③ 「海難事故の防止、テロ、武力攻撃事態等に対する危機管理対策の強化」	17	提案意見も踏まえ「 <u>武力攻撃事態等においては、国、県は国民保護法、国民保護計画F Fに基づき連携協力し、自然災害に対する既存の予防・応急措置を活用し対応する。</u> 」ことを記載。	
新潟県	柏崎市	15205-5	【東北ブロック(圏域)における社会資本の重点事項(案)◆あらゆる災害に強く暮らしを守る社会資本整備の推進について】 新潟県中越沖地震により集積された原子力発電所の耐震安全性への評価や地質・活断層などに関する多くの知見について、その継続した集積と世界規模も含めて広域的な共有を図る必要がある。	新潟県中越沖地震により、原子力発電所の耐震安全性への評価や地質・活断層などの地下構造と地震発生メカニズムなどに関して多くの知見が集積された。安定したエネルギー供給のためにも、これらの知見の継続した集積と世界規模も含めて広域的な共有を図る必要がある。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案主旨も踏まえ、社会資本として、「 <u>堤防等の河川管理施設、砂防設備、海岸保全施設、防災拠点施設の耐震化、防災拠点や避難地となる港湾緑地、防災公園、道の駅の整備を推進する。</u> 」ことを記載	提案原文は、東北ブロック
新潟県	柏崎市	15205-6	【東北ブロック(圏域)における社会資本の重点事項(案)◆低炭素社会と循環型社会構築の推進について】 EV・pHVなどの積極的な導入により環境負荷の軽減に取組む必要がある。	例えば、柏崎市は、株式会社リケンをはじめ自動車関連企業が集積しており、また、EV・pHVタウン構想や低炭素地域づくり面的対策事業などの取組みを踏まえて、新潟工科大学と財団法人にいがた産業創造機構が共同で低炭素社会に向けた技術シーズ発掘・社会システム実証モデル事業を実施している。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	提案意見も踏まえて「 <u>CO2削減や省エネルギー化の推進に向けて、屋上緑化や自然エネルギーの活用等に配慮したグリーン庁舎の整備・改修等の取組みを進める。</u> 」ことを記載。	提案原文は、東北ブロック
新潟県	新発田市	15206-1	日本海沿岸東北自動車道について、日本海側の流通、経済の発展および交流促進のためにも、一時も早い全線開通を望む。	日本海側の新潟以北においては、高速自動車道の整備が遅れており、ネットワーク化されていない。特に県境を越えるためには国道7号線以外に幹線道路がないため、通行止めとなった場合には大きく迂回せざるを得ず、経済的損失が大きい。	右記参照	9 12 19	提案意見も踏まえ、日本海沿岸東北自動車道については、主要事業として記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
新潟県	新発田市	152062-2	「道路整備費の財源等の特例に関する法律の一部を改正する法律案」等について、国庫補助負担率のかさ上げを強く要望する。 地方道路臨時交付金等他の国庫補助金においてもより高い補助率への改正を望む。	地方財政は逼迫しており、今後の税収についても大きな伸びは期待できない。したがって、無利子貸付金制度を利用したくとも、今後の歳入が期待できない状況では、利用しづらいのが実情である。		-	全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	
新潟県	新発田市	15206-3	道路構造令の解説の、「改訂 平面交差の計画と設計」((社)交通工学研究所)など関連図書に謳われている「現場の実情に合わせて長さを短縮する手法」の掲載を望む。	交差点計画において、右折車線等を設計する場合の滞留長やターバー長の算出の仕方が掲載されているが、手法はそれのみではなく「改訂 平面交差の計画と設計」((社)交通工学研究所)など関連図書に謳われている「現場の実情に合わせて長さを短縮する手法」も有効とされている。 こうした点も道路構造令に掲載していただければ多種多様な図書を調べる必要もなくなり、より道路構造令の利便性が高まる。		-	全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	
新潟県	新発田市	15206-4	二級国道(県管理国道)の整備について、国庫補助等国の関与を強めて整備促進を望む。併せて歩道のバリアフリー化、自転車歩行車道の整備促進を望む。	国道113号、290号、460号の3路線のいずれも歩道の整備が進んでおらず、特に市街地における歩道の拡幅整備要望が多い。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「市街地部の生活道路では、歩行者優先の道路整備や無電柱化を進め、安全な歩行空間を形成し…」ことを記載。	
新潟県	新発田市	15206-5	国道7号線の改良整備について新発田市を通過する国道7号線は、現在拡幅改良を進めているが、整備を促進させより早い段階での整備完了を望む。			-	提案意見を踏まえ、主要幹線道路の整備については、地域を代表する事業を記載予定	
新潟県	新発田市	15206-7	・高規格幹線道路のネットワーク化 環状軸と放射軸を基本とした道路網の配置	目的地への移動の効率化、近隣市町との交流促進。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「北陸地域内外の交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。」ことを記載。	
新潟県	新発田市	15206-8	・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 バリアフリー歩道、公共施設のバリアフリー化	交通弱者が安全に歩行できる道路と施設の確保。これによる健常者との交流促進。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「交通結節点並びに都市公園や公共性の高い建築…のバリアフリー化を進め、誰もが安全・安心に暮らせる環境の実現を図る。」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
新潟県	新発田市	15206-9	・生活道路の整備 堆雪帯の確保された道路 消雪パイプによる無雪道路	冬期間における安全な通行帯確保。 積雪期間においても緊急車両が安全に通 行できる道路。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な 国土の実現」 地方重点目標② 「雪国の生活、交通の安定 性の向上」	16	提案意見を踏まえ「積雪・堆雪を考慮し た幹線道路等の整備とともに、消融雪 施設、流雪溝の整備等や雪崩対策及び 克雪住宅の整備等により、雪に強いま ちづくりを推進する。」ことを記載。	
新潟県	加茂市	15209-1	主要事業として国道403号バイパスの 国直轄による早急な整備完成が必要。	高速道路IC、新幹線駅という高速交通 網から離れた当加茂市近辺の地域に あっては、これにアクセスする国道バイ パスの整備が喫緊の課題である。これ により、東北地方圏内外との人的な 交流、物流のネットワークにつながるこ とが可能となる。また、第三次救急医療 機関等中核医療施設への所要時間が 画期的に短縮されることとなる。これら のことから本件は当地域を代表する主 要な施策である。		—	提案意見を踏まえ、国道拡幅につい ては、地域を代表する事業を記載。	
新潟県	十日町市	15210-1	画一的な整備を見直し、地域性を重視	道路構造や構造物の規格について、地 域性や交通状況を踏まえたローカル ルール適用の制度化	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な 国土の実現」 地方重点目標② 「雪国の生活、交通の安定 性の向上」	16	提案意見を踏まえ「積雪・堆雪を考慮し た幹線道路等の整備とともに、消融雪 施設、流雪溝の整備等や雪崩対策及び 克雪住宅の整備等により、雪に強いま ちづくりを推進する。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長 あてに提出（様式-1）
新潟県	十日町市	15210-2	既存ストックの再活用と長寿命化		地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画 的な維持管理等の取組」 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設 の維持・管理及び更新の 実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構 造物の更新時期を平準化し、維持管理か ら更新までのトータルコストの縮減等 を図るため、アセットマネジメントシス テムを導入する。」ことや「既存施設の維持 等に対しては、社会資本の機能の連続 性なども考慮し各管理者が連携して取 り組む。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長 あてに提出（様式-1）
新潟県	十日町市	15210-3	新規路線の採択要件として、経済性の みの判断基準の再検討	地方では現行の費用対効果算定では 基準に達しない道路も多いが、そうした 路線であっても地域が真に必要な路線 は着実に整備できる制度として頂きたい。		—	全国的に制度のあり方を含め、検討さ れるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長 あてに提出（様式-1）
新潟県	十日町市	15210-4	地権者対策の支援・指導	道路整備にあたって、地権者の同意が 非常に困難な場合、収用法より簡易な 方策での解決策の制度化、国による支 援。		—	全国的に制度のあり方を含め、検討さ れるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長 あてに提出（様式-1）
新潟県	十日町市	15210-5	雪対策助成の拡充	当市のような豪雪地帯では、降雪時の 交通の確保や安全確保に、予期しない 多額の出費を強いられることがあるこ とから、雪対策経費に対する国庫助成制 度の拡充を望みます。		—	全国的に制度のあり方を含め、検討さ れるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長 あてに提出（様式-1）

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	十日町市	15210-6	地域高規格道路の国直轄整備の制度化	国土の均衡ある発展のため、地域高規格道路については、国の直轄事業として整備することを強く望みます。		—	全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	十日町市	15210-7	地域間交流、観光交流等を通じた地域や経済の活性化 主要国道や幹線市道整備の促進による道路ネットワークの構築	・市町村合併による地域間交流の促進 ・学校統合の実現や支所機能の縮減等効率的な行政運営の実現	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「都市間及び都市と農山漁村の交流・連携を高める交通基盤を整備・・・」を記載。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	十日町市	15210-8	地域間交流、観光交流等を通じた地域や経済の活性化 ・地域高規格道路の整備促進	・観光交流の活性化 ・物流の活性化や安定化による経済活動の活性化 ・高度医療体系へのアクセス改善による住民福祉の向上	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	十日町市	15210-9	長野県・新潟県の両県を流れる信濃川中流域の河川環境保全とその水辺空間の有効利用に関する重点的な取組が必要。	信濃川は、地域の人々にとって身近な自然で、ゆつくりと時間をかけて、この地域の豊かな文化を育んできた存在であった。上流域の長野県飯山市では、カヌー、ボートでの遊覧が盛んであり、下流域の新潟市では、ウオーターシャトルが運行している。しかし、中流域では発電用取水による減水が人々を川から遠ざけてしまっている。このため、治水、利水及び河川環境の折り合いを付け、河川公園、運動公園、桜づみ等水辺空間の有効利用を図りたい。 また、長野県から新潟市までカヌー等で下れるような治水対策、河川環境整備を実施し地域の人々を川に戻すとともに水辺環境の保全とそれを活用したエコツーリズムを推進したい。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標② 「歴史・文化を活かした個性的で魅力ある空間の創出」  地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」	10  12-13	提案意見を踏まえ「歴史的な資産と調和のとれた、都市公園整備、市街地整備、道路環境整備、河川整備などの総合的なまちづくりを推進し、個性的で魅力ある空間を創出する。」ことを記載し、あわせて主要事業として、「地域連携事業（かわまちづくり）」を記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。  提案意見を踏まえ「地域と連携して自然環境を保全・再生する活動や、自然との共生を目指す地域づくり活動の創出や支援を行う。」ことを記載し、あわせて主要事業として「地域連携事業」「自然再生事業」を記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	
新潟県	村上市	15212-1	高規格幹線道路(日本海沿岸東北自動車道未整備区間)の整備促進に関する重点的な取組が必要。	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	右記参照	9 12 19	提案意見を踏まえ、日本海沿岸東北自動車道道路については、主要事業として記載。	道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	燕市	15213-1	重点事項(案)「広大な東北の交流・連携の活性化を支える『縦』、『横』のネットワーク整備の推進」に関して、「国道289号の全線開通、整備促進」に向けた重点的な取組が必要である。	国道289号は新潟市といわき市を結ぶ東北地方を代表する主要な骨格道路であるが、「東北ブロックを南北に分断する脊梁山脈を克服し、太平洋と日本海地域の連携を強化する」という地方の課題や目指すべき将来像に照らして、新潟・福島県境で自動車交通不能区間があるうえ、都市部では狭隘箇所、慢性渋滞箇所があり、バイパス等の整備促進が必要とされている。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18 13	提案意見を踏まえ「北陸地域内外の交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。」ことを記載予定とし、あわせて主要事業として「高規格幹線道路の整備」「地域活性化IC、スマートIC(ETC専用)の整備」等を記載。 なお、八十里越については、目標3-③の主要事業として記載。	当市においては、国道289号の燕北バイパス等の整備促進が望まれる。 ※ 提案原文は東北ブロック
新潟県	糸魚川市	15216-1	既存ストックの長寿命化と計画的な更新	近い将来に直面することが予想される、道路構造物の老朽化に適切に対応できるように、長期的な視野に立った取組と道路整備の財源確保が必要である。また、厳しい財政状況の下、効率的な管理が不可欠であるとともに、海岸に近い地域においては、塩害対策にも配慮していただきたい。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことや「既存施設の維持等に対しては、社会資本の機能の連続性なども考慮し各管理者が連携して取り組む。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	糸魚川市	15216-2	高速ネットワークの有効活用による交通の転換	・ 地方においては、高速道路の交通量が比較的小さいことから、国道に並行する高速道路を有効活用するため、ETCを利用した多様な弾力的な料金施策の実施やスマートICの設置を行うなど、交通渋滞や交通事故の発生時等、その状況に応じて交通の転換を図るなど、既存ストックの有効活用をお願いしたい。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「高速交通ネットワークをさらに活用していくため、IC(インターチェンジ)や空港、新幹線駅等と都市中心部とのアクセス性を高める。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	糸魚川市	15216-3	政策的・戦略的な道路整備	・ 地方の活性化や安全安心のまちづくりを進めるためには、地方の声や道路整備の実情に十分配慮し、真に必要なようにすることが重要である。合わせて、危機管理上、リダンダンシーの確保は、生命と安全を守るために必要不可欠であることから、真に必要な道路は、通行量の多少等にかかわらず、政策的・戦略的に整備されるべきである。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見も踏まえ「迅速な復旧・復興を支援するために、緊急輸送道路等の橋梁の耐震補強、救援や支援活動を支える幹線道路網の形成、港湾の岸壁や空港における耐震強化等の整備を進める。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	糸魚川市	15216-4	個性的な地域づくりへの支援	・ 当市が進めている「糸魚川ジオパーク構想」は、ただ単に地質遺産を保護するだけでなく、それと関連する自然・文化資源等を合わせて活用し、地域振興に結びつけようというものであるが、市内には24のジオサイトがあることから、これらを有機的に結びつける交通ネットワークの整備や情報発信が課題であり、個性的な地域づくりに対する支援をお願いしたい。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「北陸の豊かな自然、良好な景観を活かした、河川の整備、個性豊かな都市公園の整備、魅力あるまちづくりを地域と連携して行う。」ことや「ビジット・ジャパン・キャンペーンの推進のほか、観光の振興や関連活動の支援のため、情報発信や人の交流の拡大を促進する拠点を形成する。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針		備考	
					対応箇所	ページ		
新潟県	糸魚川市	15216-5	良好な生活環境・景観の形成	・地球温暖化対策や沿道の環境対策をはじめ、高齢社会等に対応したバリアフリーの導入など、歩行者の安全確保と快適な生活環境の構築による、人にやさしい安全な道づくりが必要である。また、美しい景観や活力ある地域づくりを行う「風景街道」を推進することにより、地域資源や個性を活かした多様で質の高い空間の形成を目指し、地域活性化につなげていただきたい。	地方重点戦略3 「ゆとりといたしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」	11	提案意見を踏まえ「都市機能の強化やマルチモーダル施策など、交通の円滑化を図るとともに、子育てがしやすい女性や高齢者をはじめ、誰もが暮らしやすい生活環境を実現し、快適な生活空間を形成する。さらに、都市と農山漁村の交流・連携を強化し、農山漁村への都市サービスの確保や、定住・交流人口の拡大による中山間地域の支援等を図る。また、美しい国土の保全・管理を図るとともに、地球環境にやさしい暮らしの充実を図る。」ことを記載	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	糸魚川市	15216-6	地域活力の向上と競争力強化 ・姫川港とアクセスする「地域高規格道路松本糸魚川連絡道路」の整備	・地方港湾「姫川港」は、総合静脈物流拠点港（リサイクルポート）に指定されており、近年、取扱貨物量の増大とともに、さらなる拡充に向けて整備が進められている。しかし、これと接続する、内陸部との陸上交通ネットワークが不十分であることから、物流ネットワークの形成に配慮したアクセス強化が必要である。	地方重点戦略3 「ゆとりといたしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	提案意見を踏まえ「「静脈物流ネットワーク」の構築に資する港湾の整備や廃棄物埋立護岸の整備等を推進する。」ことを記載予定 なお、松本糸魚川連絡道路については、未事業化のため、未掲載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	糸魚川市	15216-7	少子・高齢化への対応と地域の自立 地域経済基盤強化のための「地域高規格道路松本糸魚川連絡道路」の整備 「一般国道8号糸魚川東バイパス」の全区間の整備 「一般国道8号親不知防災事業」の推進と「親不知バイパス」の整備 合併前の旧市町を結ぶ「交流道路」の整備	・地方においては、少子高齢化が急激に進行しており、地域の活性化を図るためには、地域経済の強化や安心して暮らせる地域社会の形成が重要である。また、自動車へ依存する割合が高いものの、合併後においても、旧市町間を結ぶ道路が脆弱であるため、市の一体感が阻害されている状況であるので、地域経済の強化や地域間の交流を支えるためにも、戦略的な道路整備が必要である。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9 13 16	提案意見を踏まえ「三大都市圏との交流の拡大を北陸地方全域の活力に繋げる高速交通ネットワークの整備を進める。」ことを記載。 なお、糸魚川東バイパスについては重点目標3-③、親不知防災については重点目標4-①の主要事業として記載。 松本糸魚川連絡道路及び親不知バイパスについては、未事業化のため未掲載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	糸魚川市	15216-8	・安全・安心の確保と災害に強い国土づくり ・信頼性の高い「地域高規格道路松本糸魚川連絡道路」の整備・「6 バイパス・4 流域2 ルート」の整備	・我が国は、地震や集中豪雨による土砂災害が頻発し、また、積雪寒冷地での降雪は、市民生活に大きな影響を与えており、長い海岸線や急流河川、広い中山間地を有する本市においても例外ではない。このため、災害時等のリダンダンシー機能を確保することを目的に、「いといがわ交通ネットワークビジョン」においても、「6 バイパスと港の整備」、「4 流域2 ルートの完成と機能向上」を位置付けているところである。特に、長野県大町・松本方面とを結ぶ国道148号は、交流・物流において地域経済の大動脈であるが、脆弱なことから、災害や緊急時にも交通が確保できる信頼性の高い道路整備が必要である。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見も踏まえ「迅速な復旧・復興を支援するために、緊急輸送道路等の橋梁の耐震補強、救援や支援活動を支える幹線道路網の形成、港湾の岸壁や空港における耐震強化等の整備を進める。」こと等に反映 なお、松本・糸魚川連絡道路については、未事業化のため、未掲載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	五泉市	15218-1	磐越自動車道の4車線化	物流、国際観光の振興には、道路・港湾等の整備が重要なため	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載予定とし、あわせて主要事業として「高規格幹線道路の整備」を記載。 なお、磐越自動車道(4車化)については未事業化のため、未掲載。	
新潟県	五泉市	15218-2	環日本海交流拠点である新潟港の整備促進	物流、国際観光の振興には、道路・港湾等の整備が重要なため	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標① 「環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大」	18	提案意見を踏まえ「環日本海諸国との間において急増する物流に対応し、地域ニーズに対応した港湾、空港の整備を行う。」ことを記載。 なお、新潟港の整備については主要事業として記載。	
新潟県	五泉市	15218-3	日本海沿岸東北自動車道の早期開通	物流、国際観光の振興には、道路・港湾等の整備が重要なため	右記参照	9 12 19	提案意見を踏まえ、日本海沿岸東北自動車道については、主要事業として記載。	
新潟県	上越市	15222-1	「上信越自動車道の4車線化の整備」に関する重点的な取組が必要。		地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	19	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載。 なお、上信越自動車道の整備(4車線化)については主要事業として記載。	※平成20年10月27日付で道路局長あての「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」で提出済み
新潟県	上越市	15222-2	「上越魚沼地域振興快速道路の整備」に関する重点的な取組が必要。		地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「都市と農山漁村間の交流・連携を高める交通基盤を整備し・・・」と記載。 なお、上越魚沼地域振興快速道路については主要事業として記載。	※平成20年10月27日付で道路局長あての「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」で提出済み

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	上越市	15222-3	「北陸新幹線及び新駅周辺地区の整備」に関する重点的な取組が必要。	北陸新幹線の整備は、国土形成の根幹をなす国家的プロジェクトであり、東北ブロックのみならず、ブロックを超えた交流・連携を活性化するためにも、重点的に推進する必要があるため。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	19	提案意見を踏まえ「北陸新幹線の開業効果を地域活力とするため、都市の拠点として駅周辺の整備を進め、新幹線駅と市街地のアクセス性を高める。」こと等を記載。なお、「整備新幹線の整備」や「新幹線駅周辺整備」については主要事業として記載。	
新潟県	上越市	15222-4	「直江津港の整備」に関する重点的な取組が必要。	重要港湾直江津港は、東北ブロックのみならず、隣接ブロック(中部、関東)を含めた地域を後背地としており、高速交通網の整備が進展する交通の要衝に位置している。直江津港の整備促進は、これら後背地における東アジア等との国際経済交流・連携強化に貢献できるため。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標① 「環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大」	18	提案意見を踏まえ「環日本海諸国との間において急増する物流に対応し、地域ニーズに対応した港湾、空港の整備を行う。」ことを記載。 なお、直江津港の多目的国際ターミナルについては主要事業として記載。	
新潟県	上越市	15222-5	「上越火力発電所の整備」に関する重点的な取組が必要。	直江津港に隣接する上越火力発電所の整備は、エネルギー港湾としての直江津港の機能を向上させるだけでなく、長野県をはじめとする中部ブロックに対する電源供給の安定化に貢献できるため。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	10	提案意見を踏まえ「食料、水、エネルギーの安定供給につながる基盤の整備を進める。」ことを記載。 直江津港整備(エネルギー港湾)については主要事業として記載。 なお、上越火力発電所については民間資本開発に係る事項のため未掲載。	
新潟県	上越市	15222-6	「一般国道8号(直江津バイパス)及び18号(上新バイパス)の渋滞解消、4車線化並びに北陸新幹線新駅へのアクセス道路の整備」に関する重点的な取組が必要。	交流・連携の活性化を支えるためのネットワーク整備として、次のような効果が期待できるため。  ・国道8号及び18号の渋滞解消等は、グローバル・ゲートウェイとしての直江津港の機能強化や、産業団地への企業進出の誘導等、産業の活性化のために、重点的に整備する必要がある。 ・国道18号の4車線化及び国道18号から北陸新幹線新駅へのアクセス道路である都市計画道路岡原脇野田線等の整備は、平成26年度末に予定されている北陸新幹線の高速定時性を活かすために、重点的に整備する必要がある。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「北陸新幹線の開業効果を地域活力とするため、都市の拠点として駅周辺の整備を進め、新幹線駅と市街地のアクセス性を高める。」こと等を記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	阿賀野市	15223-1	磐越自動車道の4車線化整備計画の早期決定	磐越自動車道は、日本海地域と太平洋地域とを結ぶ地域連携軸としてきわめて重要な役割を果たすとともに、新潟～福島と関東圏を有機的に結ぶ「ビッグトライアングル構想」の根幹部分である。また、平成16年に発生した新潟県中越地震では、被災した関越自動車道に代わり復旧や物流の確保に大きな役割を果たした。これらを合わせ考えると、東北地方の振興のためには率先して行う社会資本整備であるといえる。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	17-18	提案意見を踏まえ、重点戦略では「 <u>人・物・文化の交流を拡大するため、高速交通ネットワークと地域内のアクセス性を高めるとともに、太平洋側での災害発生時の経済的な影響軽減に向けたセーフティネットとしての機能を発揮する信頼性の高い基盤を形成・強化する。</u> 」ことを記載し、重点方針では、「 <u>太平洋側における災害発生時の代替機能確保の観点から高速交通ネットワークの整備を進め、日本全体の経済の信頼性や国民生活の安定性を確保する。</u> 」ことを記載し、主要事業として、「 <u>高規格幹線道路の整備</u> 」を記載。 なお、磐越自動車(4車線化)については、未事業化のため未掲載。	道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。
新潟県	佐渡市	15224-1	離島空港の整備に関する重点的な取組が必要。	産業基盤が脆弱な離島において、空港整備と大都市圏との航空路の開設は、地域経済を活性化させるため必要不可欠である。 また、航路と空路という複数の移動手段を確保することは、災害に強く暮らしを守る社会資本整備推進の観点からも極めて重要である。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標① 「環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大」	18	提案意見を踏まえ、「 <u>地域ニーズに対応した港湾、空港の整備を行う。</u> 」を記載。	
新潟県	魚沼市	15225-1	地域の特性に応じた財政援助を	当市は、少子高齢化、人口減、財政の逼迫、豪雪等様々な悪条件の中にあることから費用対効果の優先ではなく地域の特性に合った財政援助を要望します。		-	財政援助については、全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	魚沼市	15225-2	直轄負担金の見直しを	国直轄による道路事業では、その費用の一部を県が負担することになっており、市町村への負担はありません。しかし、県の負担金は土木予算を圧迫し、ひいては県事業の削減にいたっています。地方財政が破綻の危機にさらされている現在、直轄負担金の負担率の軽減又は廃止を要望します。		-	直轄負担金については、全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	魚沼市	15225-3	地方道路整備財源の拡充強化	遅れている地方の道路整備への強いニーズに対し、大幅に不足している地方の道路整備財源を増額するよう要望します。特に橋梁長寿命化の初期点検に対する財政援助を要望します。		-	財源については、全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	魚沼市	15225-4	地域の特性に応じた道路整備を	当市で現在、計画されている県道改良にJRとの交差箇所があり、その交差はアンダーパスであります。しかしながら、その費用は23億と多額であり、現状の県財政では着手が困難な状況です。時代の推移とともにJRのローカル船は本数が減じられている中では、平面交差で支障もなく、経費も5分の1程度ですむことから、是非とも平面交差を承認いただきたい。		-	道路構造については、全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
新潟県	魚沼市	15225-5	○ 少子高齢化に対応したバリアフリー化 ・通学路の歩道のネットワーク化	県道で整備された歩道と住宅地内の市道に歩道を整備することにより、ネットワーク化され通学児童や高齢者の交通安全が確保される。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「市街地部の生活道路では、歩行者優先の道路整備や無電柱化を進め、安全な歩行空間を形成し…」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	魚沼市	15225-6	○ 冬季道路交通の安全確保 ・消雪パイプの新設・更新 ・消雪機の増強・更新	地域の利便性が向上し、住宅分譲地域の活性化が期待される。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標② 「雪国の生活、交通の安定性の向上」	15	提案意見を踏まえ「積雪・堆雪を考慮した幹線道路等の整備とともに、消融雪施設、流雪溝の整備等や雪崩対策及び克雪住宅の整備等により、雪に強いまちづくりを推進する。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	魚沼市	15225-7	○ 道路施設の適切な維持管理 ・橋梁の修繕による長寿命化	将来予想される橋梁コストの削減が図られる。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことや「既存施設の維持等に対しては、社会資本の機能の連続性なども考慮し各管理者が連携して取り組む。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	魚沼市	15225-8	直轄事業における、採択基準の見直し	平成21年3月31日に国土交通省で公表された直轄国道の点検結果において、18事業について費用便益比(B/C)が1以下となり、魚沼市においても「一般国道17号浦佐バイパス整備事業」が対象となり本年度予算の執行が保留されています。 公共交通手段に乏しい地方部にとりまして道路への依存度は高く、災害や患者救急搬送などでは道路は命綱の役割を果たしております。 本バイパスの沿線には、計画の実現を前提として「魚沼基幹病院」、「水の郷工業団地」等が計画されており、この地域における最重要路線となっております。 現在のような地域の事情を考慮せず、時間短縮等の全国一律の評価方法で事業の可否を判断するのであれば、人口の少ない地方部の道路整備は確実に切り捨てられることとなります。 今後は、現在の手法では具体的な数字に表れない地域医療体制の充実及び企業誘致、災害など地域の生活基盤にかかわる要素も考慮して費用便益を算出するように提案をします。	-	-	採択基準については全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
新潟県	南魚沼市	15226-1	すでに事業化している道路整備についてはできる限り完了期間(期限)を明示・宣言	長期に及ぶ事業進捗によって、この間に市町村合併に伴う生活圏域の変化、急激な少子高齢化社会の到来、産業構造の変動で当初目的の根拠すらも揺らぎ、また地域住民の理解と協力意識も後退することが懸念されます。		-	提案意見を踏まえ、主要事業の事業予定を記載。	
新潟県	南魚沼市	15226-2	救命救急高度医療施設へのアクセス強化	新潟県南部に平成27年開院を目指す(仮称)魚沼基幹病院が予定されている。 平成20年12月に関越自動車道大和SIC(16h)が大型車対応となったが、十日町圏域からの高規格道路、R17六日町バイパス・浦佐バイパスの取組みこそ広域的観点から重点的に推進されることにより広域的な効果が高まる。	地方重点戦略3 「ゆとりといたしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「第3次救急医療施設への所要時間短縮に向けた、高規格幹線道路等の整備を行う。」こと等を記載。なお、個別・具体的な事業については地域を代表する事業を記載。	道路事業に関する目標等については、平成20年9月19日付けで道路局長あてに提出したのと同じ。

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	胎内市	15227-1	国県道等道路の除草等地域に即した決め細やかな維持管理	胎内市の基幹作物は米(コシヒカリ)であり、国県道等道路の多くは田園地帯を通過している。その国道の維持管理レベルがコスト縮減等により低下傾向にある。例えば、除草作業は道路敷全幅ではなく、路肩のみであり、しかも年2回程度しか実施されていない。農家では害虫駆除等を目的に地域が一体となって除草作業等に取り組んでいるが、道路管理者の協力が十分でないと懸念している。 また、カーブ区間や交差点等での見通しの悪化による交通安全面での危険も増大している。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」	18	提案意見を踏まえ「 <u>新たな地域の担い手となるNPOや地域の住民組織との連携・協働を図り、社会資本の整備及び維持管理への参画を進めるとともに、社会資本整備との触れ合いを通して地域の人づくりを支援する。</u> 」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	胎内市	15227-2	国道7号、中条黒川バイパスの4車線化および国道横断施設の改善	国道7号は、中条黒川バイパスの4車線化の全体計画14.2kmのうち、2.2kmは4車線化が完了しているが、残りの12kmはまだ2車線である。日東道の荒川IC(仮称)の開通及び荒川道路・乙バイパス供用開始が迫っていることから、4車線工事を早期に完了し道路のネットワーク化を図ってもらいたい。 また国道を横断している地下道は勾配が急で、自転車で通行するのが大変である。これを解消し、高齢者や子供たちが、安心して通れる道路にしてもらいたい。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「 <u>高速交通ネットワークをさらに活用していくため、IC(インターチェンジ)や空港、新幹線駅等と都市中心部とのアクセス性を高める。</u> 」ことを記載。 なお、国道7号中条黒川バイパスの4車線化については未事業化のため未掲載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
				地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「 <u>交通事故の危険性の高い地点での安全対策の集中的な実施、規格の高い道路と幹線道路、生活道路の利用割合の適正化を図る交通誘導等により、交通事故の減少を図る。</u> 」ことを記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。		

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
新潟県	胎内市	15227-3	国県道の交通安全対策	胎内市の主要道路は、国県道であるが、歩道の未整備区間が多く、子供たちが毎日通う場所でも歩道がなく、大変危険な思いをして通学している。通学路以外にも海岸線の国道113号線は、日東道の関連で交通量が非常に多く、歩行者等が危険にさらされている現状である。これらのことから、国県道の歩道の西部意を早期に図ってもらいたい。また国県道には線形不良や変形交差点などが多く危険であるため、改良工事を実施していただきたい。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「交通事故の危険性の高い地点での安全対策の集中的な実施、規格の高い道路と幹線道路、生活道路の利用割合の適正化を図る交通誘導等により、交通事故の減少を図る。」ことを記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	胎内市	15227-4	地域活力の強化 高速道路のネットワーク化および追加IC	工場誘致や物流の効率化。観光客の増加	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ「三大都市圏との交流の拡大を北陸地方全域の活力に繋げる高速交通ネットワークの整備を進める。」ことを記載し、主要事業として「地域活性化IC、スマートIC(ETC専用)の整備」を記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	胎内市	15227-5	総合的な交通安全対策および危機管理の強化 インターアクセス道路の整備	災害に強い町づくり	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「交通事故の危険性の高い地点での安全対策の集中的な実施、規格の高い道路と幹線道路、生活道路の利用割合の適正化を図る交通誘導等により、交通事故の減少を図る。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	胎内市	15227-6	少子・高齢化社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 道路網の整備や歩道等のバリアフリー化などを行い、高齢者にやさしく快適な生活と自然豊かな町を創造する	便利で心豊かに暮らし、元気な子供たちを高齢者とともに育てる。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	11	提案意見を踏まえ「交通結節点並びに都市公園や公共性の高い建築物、住宅のバリアフリー化を進め、誰もが安全・安心に暮らせる環境の実現を図る。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	田上町	15361-1	国直轄道路整備計画についてはこれまでの国の計画に基づいて推進してほしい。	特に都会と地方のあらゆる格差は正のために、地方幹線道路の整備促進を望む。 特に広域的に連携のとれる道路網の整備促進を強く望む。		-	的確に社会資本整備重点方針を見直しつつ、計画的に推進する。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	田上町	15361-2	一般国道整備の経費の負担率改善を望む。	これまでの国と地方自治体の負担率50:50では現在の地方自治体の財政所う協からして大変難しく、要望すること自体が困難になってきている。		-	財政援助・負担率については、全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	田上町	15361-3	一般国道の歩道整備促進を望む。	地方においては一般国道が小中学生の通学路になっていることが多く、交通安全の観点から重点的に整備をお願いしたい。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「交通事故の危険性の高い地点での安全対策の集中的な実施、規格の高い道路と幹線道路、生活道路の利用割合の適正化を図る交通誘導等により、交通事故の減少を図る。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
新潟県	田上町	15361-4	市町村道の橋梁改修事業に国の補助を増額してほしい。			-	財政援助・負担率については、全国的に制度のあり方を含め、検討されるべき事項である。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-1）
新潟県	田上町	15361-5	産業振興 工業団地造成事業を国道403号バイパス脇に約10ha造成中であるがバイパス整備が進まず、分譲が進まない	バイパスの整備により流通基盤が整備され、工業団地の分譲促進が図られる。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ「産業活動の活性化を支援するための工業団地等へのアクセス、情報通信基盤の整備や食料、水、エネルギーの安定供給につながる基盤の整備を進める。」ことを記載。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	田上町	15361-6	地域振興 県地域保健医療計画の見直しに伴い、県中央地域が二次医療圏として存続したが、この機能として救命救急センターの充実強化が盛り込まれている。	バイパスの整備促進が救命救急センターへの患者搬送の大動脈となる。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「都市中心部へのアクセス性を高める交通基盤の整理を促進する。」ことを記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	田上町	15361-7	地域振興 町の観光の核である湯田上温泉へのアクセス道路として県道新潟五泉間瀬線は重要であるが、幅員狭小・冬季間通行止めのある区間がある。	改良整備促進によって観光振興が図られる。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載予定。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	田上町	15361-8	交通円滑 一般国道403号線の朝晩渋滞ピーク時の交通緩和をするためにバイパスの整備が必要	バイパスの整備促進によって広域的な幹線道路としての機能が充実し、交通渋滞の緩和が図られる。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	13-14	提案意見を踏まえ、「バイパスや立体交差の整備、騒音対策等、道路状況に応じて、環境負荷の軽減や生活環境への影響軽減に向けての適切な取組を進める。」することを記載。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）
新潟県	田上町	15361-9	交通安全 一般国道403号線は通学路となっている区間があるが、歩道が未整備の区間がある。	児童生徒の安全・安心な通学路としての機能が充実する。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	11	提案意見を踏まえ「交通事故の危険性の高い地点での安全対策の集中的な実施、規格の高い道路と幹線道路、生活道路の利用割合の適正化を図る交通誘導等により、交通事故の減少を図る。」ことを記載。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	平成20年10月14日付けで道路局長あてに提出（様式-4）

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
新潟県	阿賀町	15385-1	磐越自動車道(4車線化)に関する重点的な取組が必要	日本海地域と太平洋地域を結ぶ磐越自動車道は、広大な東北の交流・連携の活性化を支えるネットワークとして、また、新潟県中越大地震の際には、被災した関越自動車道に代わり復旧や物資の確保に大きな役割を果たし、東北地方の課題や目指すべき将来像に照らして、東北地方を代表する主要な施策であるため。			磐越自動車(4車線化)については、未事業化のため未掲載。	道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。
新潟県	津南町	15482-1	地球温暖化に伴う異常気象等による大河川の水害から生命財産を守るためには、水系一貫管理による河川整備が必要であります。	千曲川、信濃川の長野・新潟県境約40km区間は県管理ですが、このような大河川は早急に直轄管理区間として整備すべきであると考えため。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見趣旨も踏まえ「地域住民と関係機関が一体となった総合的な防災対策に取り組み…」こと等に反映。なお、個別・具体の管理については全国的なあり方も含めて検討されるべき内容である。	
新潟県	刈羽村	15504-1	災害に強く暮らしを守る社会資本として道路整備事業に関する重点的な取組が必要	当村は、世界最大の発電量を誇る柏崎刈羽原子力発電所の半径10km以内(防災対策を重点的に充実すべき地域)に位置している。 原子力発電所は、国家的に重要な社会資本であり、地球温暖化の抑制・低炭素社会の実現に重要な役割をはたしている。また、立地地域に与える様々な影響は非常に大きいものがある。 当地域は、これまで中越大地震、中越沖地震と二度の大規模地震により甚大な被災を受け、発電所も影響を受けている。安全面での対策は十分行われるとはいえ、もしもの際に原子力防災対策に迅速に対応できるようにするためには、道路渋滞の解消や避難路の確保は非常に重要である。 地域の安全確保と住民の安心の確立するためには、原子力災害対策として避難経路の整備、拡充は不可欠であり、慢性的な国道8号線の渋滞解消のためのバイパスの早期完成、北陸自動車道のスマートIC設置が必要とされる施策である。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見も踏まえ「迅速な復旧・復興を支援するために、緊急輸送道路等の橋梁の耐震補強、救援や支援活動を支える幹線道路網の形成、港湾の岸壁や空港における耐震強化等の整備を進める。」ことを記載。	提案原文は、東北ブロック
					地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標③ 「海難事故の防止、テロ、武力攻撃事態等に対する危機管理対策の強化」	17	提案意見も踏まえ「武力攻撃事態等においては、国、県は国民保護法国民保護計画に基づき連携協力し、自然災害に対する既存の予防・応急措置を活用し対応する。」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
新潟県	関川村	15581-1	<p>・未整備国道に関する重点的な整備が必要。</p> <p>・事業凍結した国道113号「鷹ノ巣道路」の整備促進に向けて早期に凍結解除し事業を推進すること</p>	<p>当該国道は新潟・山形県関係市町村で「新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会」を結成し、国に強く整備促進を働きかけてきた道路であり、沿線地域住民にとっては生命を守る道路であり、県北と太平洋側を結ぶ物流道路である。当該国道を整備することは両県の人的・物的交流のみに限らず、国土形成のための主要な施策である。</p>	<p>地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」</p>	12-13	<p>提案意見を踏まえ、「都市間及び都市と農山漁村間との交流・連携を高める交通基盤を整備し、都市的サービスや多様な自然を同時に享受できる生活環境を形成する。」ことを記載。なお、国道113号鷹の巣道路については主要事業として記載しており、現在再評価に向けた検討を行っている旨を併記する。</p>	<p>道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。</p>

地方ブロックの地方重点方針に対する意見・提案

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
富山県	富山市	16201-1	橋梁の長寿命化を図るため、補助率のアップ等による重点的な取り組みが必要。	重要な都市インフラである橋梁の適切かつ効率的な維持管理のためには、老朽化が進む橋梁の計画的な早期改修による長寿命化が不可欠であるため。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」	19	提案意見を踏まえ「社会資本の計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現を図る。」ことを記載。	
					同 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことや「各管理者が連携して取り組む」こと等を記載。 なお、補助率については全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	
富山県	富山市	16201-2	法河川以外の水路等も含めた浸水対策に関する重点的な取り組みが必要。	昨今の「ゲリラ豪雨」等による市街地の浸水被害が増えていることから、早期の河川水路等の改修が必要であるため。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「都市機能の麻痺による社会への影響が大きい都市型水害に対して、下水道整備と都市河川事業との連携を強化し、安全度を向上させる。」ことを記載。	
富山県	富山市	16201-3	河川水を利用した小水力発電事業の推進に関する重点的な取り組みが必要。	地球温暖化防止対策としての低炭素社会の実現に向け、化石エネルギーから自然エネルギーの普及・転換を図る必要があるため。	地方重点戦略3 「ゆとりといたしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	地域の特色あるエネルギー資源の活用については、提案意見も踏まえ「CO2削減や省エネルギー化の推進に向けて、屋上緑化や自然エネルギーの活用等に配慮したグリーン庁舎の整備・改修等の取り組みを進める。」ことを記載。 なお、河川法の弾力的運用に関しては、制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	高岡市	16202-1	都市型水害(ゲリラ豪雨)に対応するため、準用河川や2級河川等の面的な排水対策を強化する。庄川、小矢部川等の主要河川における、国、流域の県、市町村の情報の共有及び連携システムを強化する。	都市型水害の対策として、都市内の下水道や雨水管による雨水排水だけでなく、用排水等を含めた河川による排水対策や関係機関の連携も重要である。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「都市機能の麻痺による社会への影響が大きい都市型水害に対して、下水道整備と都市河川事業との連携を強化し、安全度を向上させる。」こと及び「地域住民と関係機関等が一体となった総合的な防災対策に取り組み、大規模災害時における迅速かつ適切な対策を実施する。」ことを記載。 なお、庄川、小矢部川の改修事業について、主要事業として記載。	
富山県	高岡市	16202-2	直轄河川、県管理の一級河川や準用河川の一体的・計画的な整備	局地的な集中豪雨により、準用河川などが溢水し、家屋の浸水や道路冠水などの被害をもたらす。被害を少なくするためには、直轄河川に流れ込む自治体管理の一級河川や準用河川の合流点処理施設の整備や河川の改修整備の推進を図ることが重要である。				
富山県	高岡市	16202-3	北陸圏と中京圏を結ぶ東海北陸自動車道や能越自動車道の整備促進	北陸圏の南北軸となる東海北陸自動車及び能越自動車道を整備促進することにより、交流人口や物流の増加による地域活性化が期待できる。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ「三大都市圏との交流の拡大を北陸地方全域の活力に繋げる高速交通ネットワークの整備を進める。」ことを記載。なお、能越自動車道の整備について、主要事業として記載。	
富山県	高岡市	16202-4	東海北陸自動車道及び能越自動車道を活用した伏木富山港による環日本海諸国との交流及び物流の推進	ロシアを含めた環日本海諸国の交流や物流が増大しているなかで、中京圏からの交流や物流を強化することで拠点機能としての役割が期待される。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」  地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」同 地方重点目標① 「環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大」	9  17-18	提案意見を踏まえ「主要な港湾・空港と高速交通ネットワークとのアクセス性を向上させる。」ことを記載。 なお主要事業として伏木富山港の臨港道路の整備を記載。  提案意見を踏まえ「環日本海諸国との間において急増する物流に対応し、地域ニーズに対応した港湾、空港の整備を行う。」ことを記載。 なお、伏木富山港の整備について、主要事業として記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
富山県	高岡市	16202-5	景観計画において、歴史的景観などを保全・活用するため、景観形成重点地区を予定している「近世高岡の文化遺産群」などの地域で、無電柱化を推進する。	歴史的景観などの地域において、無電柱化することにより、地域の魅力がさらに向上し、高岡市を訪れる人々が増え、市民の愛着と誇りが育まれ、地域社会の活性化につながる。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標① 「快適な生活空間の形成と都市の再生」	11	提案意見を踏まえ「市街地等の主要な道路における無電柱化を進め、美しい景観形成、安全で快適な通行空間の確保を推進する。」ことを記載。なお、無電柱化に関する個別地区の記載はしない。	
富山県	高岡市	16202-6	北陸新幹線の開業に向けて新高岡駅の周辺都市機能整備や地域公共交通の連携	北陸新幹線の開業に向けて新駅の整備や、周辺のアクセス道路や地域交通を連携・充実することにより、富山県西部地域全体の発展が期待される。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	19	提案意見を踏まえ「北陸新幹線の開業効果を地域活力とするため、都市の拠点として駅周辺の整備を進め、新幹線駅と市街地のアクセス性を高める。」ことを記載。なお、新高岡駅(仮称)周辺地区の整備については、主要事業として記載。	
富山県	高岡市	16202-7	心や生活のゆとり・うるおいが不足しがちな現代社会において、緑に触れ合い、心に安らぎを与える運動施設を有する総合公園を整備する。	市町の合併により、旧行政界付近に総合公園を整備することにより、市民に安らぎを与えるとともに、市民交流の場として活用する。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」	13	提案意見を踏まえ「都市における水と緑に触れ合う場の保全・創出を図る整備を推進し、自然と共生する魅力ある都市環境を形成する。」ことを記載。なお、都市公園については、主要事業として記載。	
富山県	高岡市	16202-8	東海北陸道開通による物流交通の確保	北陸ブロックにとっては、今や、人や物の流れが大きく変わろうとしている飛躍のときであり、道路ネットワークのより一層の充実・整備が求められている。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」	17	提案意見を踏まえ「人・物・文化の交流を拡大するため、高速交通ネットワークと地域内のアクセス性を高める、…」ことを記載	
					同 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「北陸地域内外の交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。」ことを記載。なお、個別・具体の事業については地域を代表する事業を記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
富山県	高岡市	16202-9	新高岡駅などの交通結節点、高規格道路のインターチェンジ及び伏木富山港へのアクセス強化	北陸ブロックにとっては、今や、人や物の流れが大きく変わろうとしている飛躍のときであり、道路ネットワークのより一層の充実・整備が求められている。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ「 <u>主要な港湾・空港と高速交通ネットワークとのアクセス性を向上させる。</u> 」ことを記載。 なお主要事業として伏木富山港の臨港道路の整備を記載。	「今後の道路行政についての意見・提案」②-1地域の現状と抱える課題1で記載
					地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」			
富山県	高岡市	16202-10	「くらしのみちゾーン」など子どもや高齢者にやさしい歩行系ネットワークの構築や交通事故が起きにくい道路環境づくりの一層の推進	道路構造物の適時適切な維持管理は重要であるが、市民生活に密着した生活道路・通学路の路面改修や側溝整備、交通安全施設の整備のための財源確保に苦心している。こうした中で「あんしん歩行エリア」、「くらしのみちゾーン」事業は住民から喜ばれており、引き続き実施したい。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「 <u>市街地部の生活道路では、歩行者優先の道路整備や無電柱化を進め、安全な歩行空間を形成し、・・・</u> 」と記載。	「今後の道路行政についての意見・提案」②-1地域の現状と抱える課題4で記載
富山県	高岡市	16202-11	「あんしん歩行エリア」の交通事故減少対策や身近なくらしの快適性の向上を目指す「くらしのみちゾーン」	道路構造物の適時適切な維持管理は重要であるが、市民生活に密着した生活道路・通学路の路面改修や側溝整備、交通安全施設の整備のための財源確保に苦心している。こうした中で「あんしん歩行エリア」、「くらしのみちゾーン」事業は住民から喜ばれており、引き続き実施したい。				「今後の道路行政についての意見・提案」②-1地域の現状と抱える課題4で記載
富山県	氷見市	16205-1	地球温暖化に伴って大雨の頻度が増加する中、土砂災害などから、住民の生命、財産や生活を守るため、地すべり防止区域、急傾斜地危険区域、砂防指定地などについては、その対策工事を強力に推進する。	氷見市は脆弱な地質からなっており、過去に幾多の地すべり災害が発生し、貴重な財産が失われてきた。土砂災害の危険箇所も1,215箇所と県内で一番多い。土砂災害防止法にかかる基礎調査を終え、土砂災害警戒区域、特別警戒区域の指定が進んできており、その指定が進むにつれその対策工事の要望が多くなってくると考えられる。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 同地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15-16	提案意見を踏まえ「 <u>風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪(高波)災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み、厳しい自然環境の中で人々の生活の安全・安心を確保</u> 」することを記載。主要事業として「砂防事業」、「地すべり対策事業」、「急傾斜地崩壊対策事業」等を記載。なお、砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業等について主要事業で記載。	
富山県	氷見市	16205-2	未利用のため池など、老朽化等により土砂災害等の危険要因となっている発生源を事前に排除する対策事業を推進する。	氷見市には中山間地を中心に大小3000余りのため池が存在していたが、耕作放棄等により現在利用されているものは約1,500に減少している。現在未利用のため池も含め、ため池の維持管理不足や老朽化により、水の流失・浸透による土砂災害や破堤による下流域の住民の安全が脅かされている。				

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	氷見市	16205-3	過疎化・高齢化の急激な進展に伴い、住民による生活道路の維持管理が困難な状況にあることから、地域の状況に応じた整備や維持管理を強力に推進する。	中山間地の集落は、これまで人口割合に比べて大変広範囲の生活道路の水路清掃や草刈など、その維持管理を行ってきた。しかし、過疎化、高齢化の進行によりその作業の継続が困難な状況となってきた。一方自治体の財政は非常にきびしく対応が難しい状況となっている。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「中山間地の生活道路では、その地域での位置付けや沿道の状況、高齢社会などの社会環境に応じた整備・維持管理を行う。」ことを記載。	
富山県	氷見市	16205-4	昨年の東海北陸自動車道の全線開通に加え、平成26年度末までに北陸新幹線の金沢・長野間が開通予定であり、それを機に北陸への人の流れがさらに活発になることから、人の流れをスムーズに取り入れアクセス性を高めるため、また、災害時における国民の生命と財産を守るため、集落の孤立を防ぐバイパス機能を付加するため高規格幹線道路の追加インターチェンジの設置を推進する。	高規格幹線道路のインターチェンジ区間が長く、通過する集落や主要道路が多いところ(たとえば能越自動車道の氷見市惣領地区)は、地域内外とのアクセス性を高め、地域間交流や企業誘致を促進するために、追加インターチェンジの設置が、地域住民等から強く求められている。また、土砂災害が多く発生する地域特性から災害時のバイパス機能をもたせ孤立集落を防ぐためにも一定距離での追加インターが必要である	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「北陸地域内外の交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。」ことを記載。なお、地域活性化IC、スマートIC(ETC専用)の整備について主要事業として記載。	
富山県	氷見市	16205-5	安全な歩行者空間の確保や車両の安全運行を図るため、既存集落道路等の水路の蓋がけや小規模な道路改良事業を推進する。	氷見市内の生活道路は古来から利用されている集落道路が多い。歩道がなく道路幅員も狭く、また線形にも問題が多い。住民からは道路側溝を蓋がけタイプに布設換えることによる安全な歩行者空間の確保や、道路の局部的な線形改良や拡幅の要望が非常に強い。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「中山間地の生活道路では、その地域での位置付けや沿道の状況、高齢社会などの社会環境に応じた整備・維持管理を行う。」ことを記載。	
富山県	氷見市	16205-6	住民生活に密着した生活道路の改修や維持・補修を交付金制度の対象とする。	住民から最も要望のある生活道路の改修や維持・補修(道路側溝の整備など)を交付金制度の対象とし、生活道路の整備等を推進する。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「市街地部の生活道路では、歩行者優先の道路整備や無電柱化を進め、安全な歩行空間を形成し、あわせて中山間地の生活道路では、その地域での位置付けや沿道の状況、高齢社会などの社会環境に応じた整備・維持管理を行う。」ことを記載。なお、交付金制度については、全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」で提出済
富山県	氷見市	16205-7	汚泥減量化はすべての自治体での懸案事項であり、国あるいは県など行政が主体となつての減量化のための研究開発を推進する。	下水道処理人口や普及率の上昇に伴って汚泥の発生量及びその処理費が年々増加しており汚泥の再生利用はもとより発生汚泥そのものの減量化に向けての方策が課題となっている。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	提案意見を踏まえて「下水汚泥の減量化と有効利用を図る」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
富山県	滑川市	16206-1	国道8号4車線化の整備促進	県内の産業・経済の発展や情報・文化・観光など最も重要な幹線道路であるが、交通渋滞が頻繁に起きているため、県東部の国道8号4車線化の整備促進を要望する。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9 13	提案意見を踏まえ「三大都市圏との交流の拡大を北陸地方全域の活力に繋げる高速交通ネットワークの整備を進める。」ことを記載し、「主要幹線道路の整備」を記載。 なお、滑川富山バイパスについては重点目標3-③の主要事業として記載。	平成20年9月19日付けで国土交通省道路局長より依頼の「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」において既に提案したのもの
富山県	滑川市	16206-2	「寄り回り波」に関する重点的な整備促進	富山湾特有の「寄り回り波」や台風等に伴う「高波」から、市民の生命、財産等を守るため離岸堤や景観に配慮した階段式護岸整備など海岸保全事業の整備促進を要望する。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の形成」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	14-15	提案意見を踏まえ「風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪(高波)災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み、厳しい自然環境の中で人々の生活の安全・安心を確保」することを記載。なお、海岸保全施設整備事業や海岸侵食対策事業について主要事業として記載。	
富山県	滑川市	16206-3	ゲリラ豪雨に対する中小河川の整備促進	近年多発するゲリラ豪雨で中小河川が氾濫し、床上、床下浸水が発生することから、市民の生活の安全、安心を確保するため、中小河川の整備促進を望む。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「都市機能の麻痺による社会への影響が大きい都市型水害に対して、下水道整備と都市河川事業との連携を強化し、安全度を向上させる。」ことを記載。	
富山県	黒部市	16207-1	風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服に関し、50年以上経過している橋梁や海岸の堤防が多い現状であり、メンテナンスも含めて整備に関する計画的な取組が必要。	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」  同 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	19  20	提案意見を踏まえて「社会資本の計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現を図る。」ことを記載。  提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことを記載。	自然災害の克服に関する提案

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	黒部市	16207-2	明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然と共生に関し、黒部川の出平ダム上流が50年間でかなり河床が上がり大きく変化している。自然環境、景観、観光等の面からも問題である。世界文化遺産登録を目指す観点からも総合的な土砂管理に取り組む必要がある。	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」	11	提案意見を踏まえ、「美しい国土の保全・管理を図る…」ことを記載。	自然環境・水循環系の保全に関する提案
					同 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」	13	提案意見を踏まえ「 <u>河川の連続性保持のための必要流量の確保等や、山地から海岸まで一貫した総合的な土砂管理により、砂防施設やダムによる土砂の適切な流下などの対策を関係機関と連携しながら実施する。</u> 」ことを記載。 なお、個別・具体の事業については地域を代表する事業を記載。	
富山県	黒部市	16207-3	地球温暖化対策に関し、地域の特色あるエネルギー資源の活用の観点から、農業用水路を利用する小水力発電の設置が円滑に進むよう、例えば、届け出取水量の内容が明確、かつ、その範囲内であるなど一定の要件を満たすものに対しては原則として発電水利権を許可するなど、河川法の弾力的な運用を行えないか。	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	地域の特色あるエネルギー資源の活用については、提案意見も踏まえ「CO2削減や省エネルギー化の推進に向けて、 <u>屋上緑化や自然エネルギーの活用等に配慮したグリーン庁舎の整備・改修等の取り組みを進める。</u> 」ことを記載。 なお、河川法の弾力的運用に関しては、制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	地球温暖化対策に関する提案
富山県	黒部市	16207-4	快適な生活空間の形成と都市の再生に関し、本年、新川地域3市2町が観光圏整備実施計画の認定を受け、連泊型の観光地として地域全体の活性化を目指すこととなった。県東部駅である(仮称)新黒部駅を起点とし、北陸本線や富山地方鉄道とを結節させるなど、来訪者にとってシームレスで利便性の高い公共交通ネットワーク化の構築を図っていく必要がある。	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標① 「快適な生活空間の形成と都市の再生」	11	提案意見を踏まえ「 <u>主要な駅等における交通機関相互の乗り継ぎ・乗り換えの効率化、駅周辺の道路や駅前広場、自由通路等の整備を進め、都市内公共交通機関の利便性を向上させる。</u> 」ことを記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	広域交通ネットワークに関する提案

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	黒部市	16207-5	地球環境への負荷の軽減と環境の改善に関し、農業集落排水処理施設がかなり年数が経過していることから、今後公共下水道につなぎ込みを行いたいと考えており、集落排水と公共下水道と一体的な管理運営ができるような取り組み及びその支援策が必要である。また、地域の特色あるエネルギー資源の活用の観点から、バイオマスリサイクル事業の実手法の一つとして、生ゴミをディスポージャーで下水道に流すことによるエネルギー資源活用の推進は必要であり、循環型生活スタイルの構築に向けての取り組みを一層推進すべきである。	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	提案意見を踏まえ「 <u>下水汚泥の減量化と有効利用を図る</u> 」ことを記載。なお、集落排水と公共下水道の一体的管理運営については、制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	地球温暖化対策に関する提案
富山県	小矢部市	16209-1	広域交流の活性	国道8号倶利伽羅トンネルの整備 北陸の大動脈である国道8号において、ボトルネック状態にある倶利伽羅トンネルを整備することにより、物流の円滑化・ツーリング愛好者や歩行者の安全を確保する必要があります。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	17	提案意見を踏まえ「 <u>北陸地域内外の交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。</u> 」ことを記載。なお、個別・具体の事業については地域を代表する事業を記載。	平成20年9月19日付けで国土交通省道路局長より依頼の「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」において既に提案したもの
富山県	小矢部市	16209-2	危機管理の強化及び総合的な交通安全対策	主要地方道砺波小矢部線の整備(砺波市神島～小矢部市鷲島) 当該路線沿線には、陸上自衛隊第301施設隊が常駐し有事に備えています。この隊の活動範囲は、中部地方一帯であり、当該路線は駐屯地から国道8号、能越・東海北陸自動車道への最短且つ唯一の幹線道路であり、安全安心のためにも早期整備が必要です。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見も踏まえ「 <u>迅速な復旧・復興を支援するために、緊急輸送道路等の橋梁の耐震補強、救援や支援活動を支える幹線道路網の形成、港湾の岸壁や空港における耐震強化等の整備を進める。</u> 」ことを記載。	
					地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標③ 「海難事故の防止、テロ、武力攻撃事態等に対する危機管理対策の強化」	17	提案趣旨も踏まえ、「 <u>武力攻撃事態等においては、国、県は国民保護法、国民保護計画F Fに基づき連携協力し、自然災害に対する既存の予防・応急措置を活用し対応する。</u> 」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	小矢部市	16209-3	幹線道路の渋滞解消と自歩行者の安全確保	都市間幹線道路整備 現在地方では、医師不足が深刻を極めていす。緊急対応できる医療機関がどんどん遠くなっています。基幹病院までのアクセス道路を早急に整備する必要があります。また、緊急自動車等が被災地への早期到着の必要等、幹線道路交差点の渋滞解消も望まれています。一方、少子化による教育施設の統廃合・廃止や公共交通機関の整備率の低さにより、子供達の通学距離も遠くなっています。車道と自歩道を分離した安全安心な幹線道路整備が必要となっています。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「交通事故の危険性の高い地点での安全対策の集中的な実施、規格の高い道路と幹線道路、生活道路の利用割合の適正化を図る交通誘導等により、交通事故の減少を図る。」ことを記載。	
富山県	小矢部市	16209-4	冬期交通の確保	消雪施設の広範囲化及び除雪機械の確保 雪国における冬期交通の確保は、市民から最も要望の強い行政サービスです。近年、暖冬傾向にあると言われていすが、平成18年豪雪は記憶に新しいところでありす。公共事業の減少に伴い、業者数の減少・業者保有除雪車両の合理化等が進み、これまでの除雪体制を堅持することが年々難しくなっておりす。冬期交通の確保を行うための施策、消雪施設の整備促進・除雪車両の確保を行う必要があります。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標② 「雪国の生活、交通の安定性の向上」	16	提案意見を踏まえ「積雪・堆雪を考慮した幹線道路等の整備とともに、消融雪施設、流氷溝の整備等や雪崩対策及び克雪住宅の整備等により、雪に強いまちづくりを推進する。」こと及び「ボランティアによる歩道除雪などボランティア・サポート・プログラムへの参画を呼びかけ、地域と連携して雪対策に取り組む。」ことを記載。	
富山県	小矢部市	16209-5	橋梁の長寿命化	橋梁の長寿命化・耐震化の推進 今後、当市での道路橋の老朽化による維持管理費用の増大が見込まれ、橋梁の長寿命化修繕計画を策定して、計画的な長寿命化・耐震化を進め、地域の道路網の安全性・信頼性の確保を行う必要があります。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取り組み」 同 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことや「各管理者が連携して取り組む」こと等を記載。	
富山県	小矢部市	16209-6	東海北陸道開通による観光施設へのアクセス道路整備	宮島峡・稲葉山県定公園、倶利伽羅県定公園、桜町遺跡、クロスランドおやべ、メルヘン建築等へのアクセス道路 東海北陸自動車道開通により、県内外の観光施設への交通量の増大により、市内幹線道路においても事故・渋滞等が発生が懸念されます。そのため、観光道路の整備、視距の確保、交差点改良、自歩道設置等を推進し、従来の交通の利便性を確保しながら安全性をランクアップさせる道路整備を行う必要があります。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	小矢部市	16209-7	東海北陸道開通による物流交通の確保	市内生産加工拠点・商業地域への物流道路の整備促進 北陸の十字路として、東海北陸自動車道開通により、当市では物流による交通量の増大が見込まれ、事故・渋滞等が発生が懸念されます。そのため、物流道路の整備、視距の確保、交差点改良、自歩道設置等を推進し、従来の交通の利便性を確保しながら安全性をランクアップさせる道路整備を行う必要があります。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」	17	提案意見を踏まえ「 <u>人・物・文化の交流を拡大するため、高速交通ネットワークと地域内のアクセス性を高める・・・</u> 」ことを記載。	
富山県	小矢部市	16209-8	市内交通の確保	安全安心な市道整備と管理 国道・県道等の主要幹線道路の機能を補完し、地域住民の生活に密着した市道整備を推進すると共に、公共施設等災害時避難場所へのアクセスを考慮し、緊急車両も通行しやすい安全安心な市道整備を進めて行く必要があります。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「交通事故の危険性の高い地点での安全対策の集中的な実施、規格の高い道路と幹線道路、生活道路の利用割合の適正化を図る交通誘導等により交通事故の減少を図る。」こと及び「市街地部の生活道路では、歩行者優先の道路整備や無電柱化を進め、安全な歩行空間を形成」することを記載。	平成20年9月19日付けで国土交通省道路局長より依頼の「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」において既に提案したものを記載。

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
富山県	小矢部市	16209-9	治水事業の促進について	河川改修事業の促進について 去年の7月28日富山県南西部に発生したゲリラ豪雨による小矢部川の異常出水は、記憶に新しいところであります。いざ、河川堤防が決壊した場合、住民の通常生活はもとより、長期にわたる災害物資運搬も困難な状況に陥ることになります。災害を未然に防止するため、河川改修事業の更なる促進の必要があります。 (直轄河川 小矢部川 今石町町・小神地内右岸 横江宮川合流地点 五位庄堰堤下流左岸堤防の整備 渋江川 綾子・蓮沼 渋江川直轄管理区間)	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 同地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15-16	提案意見を踏まえ「風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪(高波)災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み、厳しい自然環境の中で人々の生活の安全・安心を確保」することを記載。なお、小矢部川支川合流点処理対策について主要事業として記載。	
富山県	小矢部市	16209-10	治水事業の促進について	河川改修事業の促進について 毎年、梅雨に訪れる豪雨により冠水被害が発生し、住宅浸水被害が発生している地区があります。安全安心で住民が被害を被らない河川改修事業の促進は急務となっています。 (総合流域防災事業 矢水町・浅地地内 藪波川 小神地内 横江宮川)				
富山県	小矢部市	16209-11	治水事業の促進について	河川改修事業の促進について 毎年、梅雨に訪れる豪雨により冠水被害が発生し、住宅浸水被害が発生している地区があります。安全安心で住民が被害を被らない河川改修事業の促進は急務となっています。 (広域基幹河川改修事業 岡地内 黒石川)				
	小矢部市	16209-12	治水事業の促進について	砂防事業の推進について 毎年、梅雨に訪れる豪雨で谷を削りながら土砂流出する河川において、近隣に生活する住民にとって、住宅が流されないかと不安に陥っております。安全安心で住民が被害を被らない砂防事業の促進を望みます。 (通常砂防事業 田川地内 田川谷内川 桜町地内 渋谷川)				

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	小矢部市	16209-13	治水事業の促進について	砂防事業の推進について 富山県と石川県能登地方を結ぶ国道471号線を含み、地すべりが発生しております。いざ、震災が発生すれば一帯全域が被災し、公共施設はもとより、住民の命・財産が大規模に失われることとなります。安全安心な生活基盤を維持するためにも、地すべり対策事業の早期完成が必要です。 (地すべり対策事業 岩尾滝、岩尾滝前田、坪野地内)	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 同地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	14-15	提案意見を踏まえ「風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪(高波)災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み、厳しい自然環境の中で人々の生活の安全・安心を確保」することを記載し、あわせて、主要事業として「河川災害等関連緊急事業」「河川整備」等を記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	
	小矢部市	16209-14	治水事業の促進について	砂防事業の推進について いざ、震災が発生すれば一帯全域が被災し、公共施設はもとより、住民の命・財産が大規模に失われることとなります。安全安心な生活基盤を維持するためにも、急傾斜地崩壊対策事業の早期完成が必要です。 (急傾斜地崩壊対策事業 法楽寺地内 特別養護老人ホーム清楽園下法面)				
富山県	射水市	16211-1	庄川直轄河川築堤事業、下条川・前田川の護岸改修事業などの水害対策に関する取組を重点的に推進すること	本市では、市全域を網羅した洪水ハザードマップの作成、雨量観測システムの活用など、これまでの経験を踏まえた水害対策に取り組むとともに、築堤事業や護岸改修事業を推進しています。 しかし、庄川流域の新湊、大島、大門地区では、堤防高及び堤防断面不足により流下能力が低いことから、地域住民の洪水への不安は増大しています。 また、本市には、下条川、前田川など一部未改修区間があることから、出水期の水害が懸念されています。 河川の築堤事業や護岸改修事業などの水害対策を重点的に推進することにより、災害に強い安全・安心な暮らしの充実が図られます。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 同地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	14-15	提案意見を踏まえ「風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪(高波)災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み、厳しい自然環境の中で人々の生活の安全・安心を確保」することを記載し、あわせて、主要事業として「河川災害等関連緊急事業」「河川整備」等を記載。 なお、庄川高岡地区弱小堤対策について主要事業として記載。	(具体的な事業) 庄川直轄河川改修事業(庄川右岸、左岸(堤防)) 下条川上流部改修事業 前田川上流部改修事業
富山県	射水市	16211-2	庄川水系利賀ダム建設などの治水対策に関する取組を重点的に推進すること	本市は、庄川下流域に位置し、洪水時に堤防の越水や決壊などの危険が予想される箇所や台風による危険水位の超過など、流域住民の洪水への不安は増大しています。 洪水調節機能を持つダムの建設などの治水対策を重点的に推進することにより、災害に強い安全・安心な暮らしの充実が図られます。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 同地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15-16	提案を踏まえ、利賀ダム建設事業について主要事業として記載。	(具体的な事業) 庄川水系利賀ダムの建設促進

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
富山県	射水市	16211-3	高潮や高波、寄り回り波などへの防災対策を重点的に推進すること	本市では、台風の時節に発生する高潮や冬の強い季節風が起因する高波、富山湾特有の寄り回り波など、過去の自然災害を教訓に、河川への水門の設置や排水ポンプ車の導入、また、関係機関と連携し、ハード・ソフト両面から港湾における災害対策を推進しています。 しかし、地球温暖化等に伴って高波等の増加が懸念されることから、住民は、将来的に起こり得る不測の事態に対し、大きな不安を抱えています。 高波等への対策が広域的に推進されることにより、総合的な防災・減災対策の強化・促進が図られます。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 同地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15-16	提案意見を踏まえ「風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪(高波)災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み、厳しい自然環境の中で人々の生活の安全・安心を確保」することを記載。なお、 <u>海岸保全施設整備事業について主要事業として記載。</u>	
富山県	射水市	16211-4	消雪施設整備など、雪に強いまちづくりの取組を重点的に推進すること	本市では、市民協働による地域ぐるみ除排雪活動の実施や機械除排雪など、雪に強いまちづくりを推進しています。 しかし、宅地開発の進展や市道の延伸等により、除雪を必要とする道路が年々増加しており、除雪機械の確保が難しくなり、消雪施設の充実を図る必要があります。 雪害対策を重点的に推進することにより、雪国の生活、交通の安定性の向上が図られます。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 地方重点目標② 「雪国の生活、交通の安定性の向上」	16	提案意見を踏まえ「積雪・堆雪を考慮した幹線道路等の整備とともに、 <u>消融雪施設、流雪溝の整備等や雪崩対策及び克雪住宅の整備等により、雪に強いまちづくりを推進する。</u> 」ことを記載。	(具体的な事業) 消雪施設整備の促進 雪寒道路の整備 県道網の無雪害事業の整備促進
富山県	射水市	16211-5	重点密集市街地(放生津地区)整備事業を重点的に推進すること	本市には、地震時等において大規模な火災の危険性がある密集市街地の放生津地区があります。 この地区は、老朽化した家屋の崩壊など、防災面、環境面において多くの問題を抱えており、地域住民と連携し、居住環境の改善に向けた取組を進めているところがあります。 重点密集市街地の解消に向けた取組の強化を推進することにより災害に強いまちが形成されます。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 同地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見も踏まえ「 <u>防災拠点や避難地となる港湾緑地、防災公園、道の駅の整備を推進する。</u> 」ことを記載。 なお、主要事業について厳選したため、未掲載。	(具体的な事業) 住宅市街地総合整備事業(放生津地区)
富山県	射水市	16211-6	親司川、鴨川など、貴重な生物が生息する身近な河川環境整備を重点的に推進すること	本市には、学術的に貴重な生物(あしつき、トミヨ)が生息する一級河川 親司川、鴨川等があり、身近な自然が適切に保全されるよう、自然に関心を持ち、自然環境に配慮した活動ができる社会の構築に向けた取組を推進しています。 このような自然にやさしい環境保全と意識啓発を推進することにより、水と緑に触れあう場の保全・創出などの整備が図られます。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」	13	提案意見を踏まえ「 <u>地域と連携して自然環境を保全・再生する活動や、自然との共生を目指す地域づくり活動の創出や支援を行う。</u> 」ことを記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	(具体的な事業)親司川整備事業 鴨川整備事業 下条川整備事業

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	射水市	16211-7	海岸の環境整備、侵食対策を重点的に推進すること	本市には、海竜マリンパークや海竜スポーツランドなど富山県を代表する海洋レジャー施設が立地しています。 また、隣接する海老江海浜公園海水場では、市民協働のモデル事業として、地域住民で管理運営を行い、地域ぐるみで海岸の環境向上に取り組んでいます。 このような地域住民とかかわりの深い海岸の環境整備、侵食対策を推進することにより、水と緑に触れあう場の保全・創出などの整備が図られます。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」	12 16	提案意見を踏まえ「 <u>海岸侵食対策や河川の自然再生事業、広域的なレクリエーション拠点となる国営公園などの整備を推進し、自然と住民との触れ合いの場を形成する。</u> 」ことを記載。 なお、伏木富山港海岸の海岸侵食対策については、重点目標4-②の主要事業として記載。	(具体的な事業)海岸環境整備事業(ビーチ利用促進モデル事業)(海老江地先)海岸侵食対策事業(ふるさと海岸整備事業、渚の創生事業)海岸環境整備事業(堀岡地内)
富山県	射水市	16211-8	まちづくり交付金事業を重点的に推進すること	本市の新湊地区では、年間を通して多くの観光客が訪れる海王丸パークとロマンあふれる内川周辺を有機的に結び、魅力ある水辺空間の創出を目指し、また、小杉地区では、生活環境を向上させ定住人口の増加を図るとともに、市街地として賑わいを再生させるなど、各地域の特色あるまちづくりを推進しています。 各地域の特色を生かした市街地活性化のまちづくりを推進することにより、快適な生活空間の形成と都市の再生が図られます。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標② 「歴史・文化を活かした個性的で魅力ある空間の創出」	10	提案意見を踏まえ「 <u>歴史的な資産と調和のとれた、都市公園整備、市街地整備、道路環境整備、河川整備などの総合的なまちづくりを推進し、個性的で魅力ある空間を創出する。</u> 」ことを記載。 なお、まちづくり事業については地域を代表する事業をそれぞれの目標に応じて記載。	(具体的な事業)まちづくり交付金事業新湊地区(内川べり及び新湊大橋周辺の整備等)小杉地区
富山県	射水市	16211-9	万葉線の活性化に関する取組を重点的に推進すること	万葉線は、高岡市・射水市を結ぶ地域生活路線であるとともに、本市のまちづくりに欠かせない重要な役割を担っています。 万葉線の活性化は、住民の移動手段の確保だけでなく、産業振興・観光振興を図るためにも重要であり、また、地球温暖化防止に資することから、広域的、重点的に取り組まれることにより、地球環境にやさしく住みやすいまちづくりが推進されます。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	提案意見を踏まえ「 <u>環境への負荷の軽減につながる公共交通機関の利用促進に向けて、路面電車の機能向上など地域公共交通の活性化・再生を推進する。</u> 」ことを記載。 なお、主要事業として高岡駅前広場の再構築等を記載。	(具体的な事業)鉄道軌道輸送高度化事業LRTシステム整備事業
富山県	射水市	16211-10	コミュニティバス「きとときとバス」の充実に関する取組を重点的に推進すること	本市では、JR、万葉線、路線バスだけでは補いきれない公共交通機関を市内全域まで網羅し、交通弱者の社会参加促進、公共施設へのアクセス強化を図るため市内全域を網羅するコミュニティバス「きとときとバス」を運行し、快適で利便性の高いまちづくりを進めています。 この取組の充実を図ることにより、公共交通空白地が解消され、だれもが安全で安心して暮らせる生活環境の実現が図られます。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「 <u>高度な都市機能や、都市的サービスを利用しやすくするために、多様な機能が集積する、都市中心部へのアクセス性を高める交通基盤の整備を推進する。</u> 」ことを記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	射水市	16211-11	生活を支える上水道事業の推進を重点的に推進すること	本市では、水道ビジョンを公表し、安全で安心な水道水を安定的に供給できるように、水質管理を充実するとともに、事故災害対策も含めた施設整備を推進しています。 快適な生活環境を整備するため、配水管網整備や老朽化施設の耐震化、鉛製給水管更新を進めることにより、災害に強い安全・安心な暮らしの充実が図られます。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことを記載。	基幹配水管路整備事業 鉛製給水管更新事業
富山県	射水市	16211-12	水環境を守る下水道防災事業の推進を重点的に推進すること	本市では、市民の安全で快適な生活空間を確保するため、市全域の下水道整備を進めています。 しかし、近年多発する局地的な集中豪雨に対する総合的な浸水対策や老朽化した下水道管路機能を維持するための長寿命化対策など、下水道防災事業の推進が重要となっています。 この取組みを推進することにより、健全な水環境が守られ都市機能の強化が図られます。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」	13	提案意見を踏まえ「現在の豊かな水環境や美しい水質を保全するため、引き続き、新たな水環境の創出や改善活動の支援、下水道整備等の推進による生活環境等の改善を行う。」ことを記載。	(具体的な事業) 浸水対策事業(市街地全域) 長寿命化対策事業(新湊地区、小杉地区)
				地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 及び 同地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「都市機能の麻痺による社会への影響が大きい都市型水害に対して、下水道整備と都市河川事業との連携を強化し、安全度を向上させる。」ことを記載。		
富山県	射水市	16211-13	都市計画道路七美太閤山線などの地域をつなぐ道路網の整備を重点的に推進すること	本市は、富山市と高岡市の中間に位置する地理的条件から東西方向に強い幹線道路網となっています。一方、南北方向の幹線道路は未整備区間が多く、都市環状軸として位置付けている都市計画道路七美太閤山線高架橋の早期完成、県道新湊庄川線のJR北陸線アンダーパス化の整備促進など、JR北陸線の踏切を中心とした朝夕の交通渋滞の解消が重要な課題となっています。 また、東西方向の道路として、国道8号の坂東交差点の立体化事業や能越自動車道のアクセス道路となる都市計画道路北島牧野線、国道8号を補完し富山北部地区へ連絡する(仮)七美荒屋線等の整備促進が求められています。 これら、地域をつなぐ道路網の整備を重点的に推進することにより、環境負荷の軽減や安全・安心な生活環境の実現が図られます。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標① 「快適な生活空間の形成と都市の再生」	11	提案意見を踏まえ「踏切による交通渋滞や地域分断を解消するため、鉄道の高架化や道路と鉄道の立体交差化等を進める。」ことを記載。 なお、個別・具体の都市計画道路路線名の記載はしない。	(平成20年9月19日提出の今後の道路行政についての意見・提案と重複)  (具体的な事業) 主要地方道小杉婦中線道路改良事業 一般国道8号線坂東交差点立体化事業 一般県道姫野能町線道路改良事業 (仮称)七美荒屋線の道路新設 都市計画道路二口北野線整備事業 都市計画道路東老田高岡線事業 新庄川橋の架け替えについて 一般国道472号(青井谷地内)道路改良 一般国道415号の景観整備とバリアフリー対策 主要地方道富山高岡線外あんしん歩行エリア対策 北陸新幹線開通に向けた側道整備

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	射水市	16211-14	経営体育成基盤整備事業を推進し、農業生産基盤の整備を重点的に進めること	本市では、将来の農業生産を担う効率的で安定的な経営を育成するため、生産基盤の整備を図り、農業生産の法人化を進めています。 その生産基盤整備を推進することにより、農業経営基盤の安定化が図られます。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	今回の社会資本整備重点方針では、農業生産基盤整備は直接の対象とはしていない。 なお、社会資本分野での対応として、「産業活動の活性化を支援するための工業団地等へのアクセス、情報通信基盤の整備や食料、水、エネルギーの安定供給につながる基盤の整備を進める。」ことを記載。	(具体的な事業) 経営体育成基盤整備事業(農業生産法人等育成型)土台地区
富山県	射水市	16211-15	各都市バイオスタウン構想の実現に向けた取組を重点的に推進すること	本市では、地球環境に配慮しながら、新たな産業の育成と雇用の創出を目的に射水市バイオスタウン構想を策定し、製材業からの木質系廃棄物の炭化やその高度利用、廃食油の燃料化、産学官民連携による教育・食育のサポートや教育ファームの形成などの具体化に向け取り組んでいます。 バイオスタウン構想の実現に向けた取組を推進することにより、地球環境への負荷の軽減と環境の改善が図られます。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	提案意見を踏まえ「CO2削減や省エネルギー化の推進に向けて、屋上緑化や自然エネルギーの活用等に配慮したグリーン庁舎の整備・改修等の取り組みを進める。」ことを記載。	
富山県	射水市	16211-16	伏木富山港新湊地区(富山新港)の旅客船バース(海王岸壁)の大型船対応と利用促進を重点的に推進すること	伏木富山港新湊地区(富山新港)にある旅客船バース(海王岸壁)に、客船「ばしふいっくびいなす」など多くの客船が入港しており、隣接する「みなとオアシス海王丸パーク」とともに、にぎわいのある港湾施設として活用が図られています。 本市としても、港のにぎわい創出や交流拠点の拡充、更には、旅客船会社に対して利用促進に向けた積極的な要望活動等を行っているところです。 しかし、「飛鳥Ⅱ」をはじめとした客船が大型化し、当バースの岸壁延長が急務となっており、今後の誘客拡大を図るため、客船バースの大型船対応など、広域交通基盤の強化を重点的に推進することにより、国際交流の促進が図られます。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標① 「環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大」	18	提案意見を踏まえ「環日本海諸国との間において急増する物流に対応し、地域ニーズに対応した港湾、空港の整備を行う。」ことを記載。 なお、伏木富山港新湊地区の整備を主要事業として記載。	(具体的な事業) 港湾改修事業(海王町)
富山県	射水市	16211-17	国際観光の玄関口となる港湾の構築を重点的に推進すること	背後地に世界遺産や立山・黒部アルペンルートなど国際的に魅力のある観光地の玄関口として、「港湾」の役割は大きく、特定重要港湾伏木富山港の中枢を担う富山新港の旅客船バースのターミナル機能が不十分であるため、外国人観光客の円滑な受入に支障を来しています。 多様な国際観光ルートの玄関口としての「港湾」を構築する制度づくりを推進し、施設の充実を図ることにより、広域交通基盤の強化が図られます。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標① 「環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大」	18	提案意見を踏まえ「国際就航便の増発や新規航路・路線の誘致、シベリアランドブリッジなどを経由し、欧州も視野に入れた新たな取り組みにより国際交流の拡大を図る。」ことを記載。	(仮称)「国際観光港」の指定制度創設

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
富山県	射水市	16211-18	臨港道路富山新港東西線の整備を重点的に推進すること	伏木富山港新湊地区(富山新港)の港口を連絡する臨港道路富山新港東西線は、伏木富山港を有機的に結び、港湾貨物の輸送幹線として、地域経済の活性化に大きく寄与するだけでなく、背後交通体系と整合性をとりながら、周辺地域と一体的な有効利用を図る上で、極めて重要な役割を担うものであり、重点的に整備されることにより、国際物流機能の強化が図られます。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標① 「環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大」	18	提案意見を踏まえ「国際的な物流基盤を構築するため、国際標準コンテナ車の運行に必要な道路走行空間を確保する。」ことを記載。 なお、伏木富山港新湊地区における臨港道路の整備について主要事業として記載。	(平成20年9月19日提出の今後の道路行政についての意見・提案と重複)  (具体的な事業) 港湾改修事業 臨港道路富山新港東西線
富山県	射水市	16211-19	交流・物流を促進する東海北陸自動車道の4車線化を重点的に推進すること	東海北陸自動車道の全線開通により、環日本海諸国への観光・物流の玄関口である伏木富山港新湊地区(富山新港)を有する本市にとって、今後、さらに中京圏との物的・人的交流が盛んになると期待されます。 両圏域の交流・物流を促進し産業活動を支援するため、東海北陸自動車道4車線化を推進する必要があります。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「北陸地域内外の交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。」ことを記載。 なお、東海北陸自動車道の4車線化については、未事業化のため未掲載。	
富山県	射水市	16211-20	伏木富山港新湊地区(富山新港)の多目的国際ターミナル岸壁整備を重点的に推進すること	伏木富山港新湊地区(富山新港)は、国際貿易における日本海側屈指の要港であり、近年、多目的国際ターミナルが拡張整備されています。 しかし、環日本海沿岸を対象にコンテナ輸送の増加からコンテナ船の沖待ちが発生しており、その解消を図るため、2バース、2クレーン体制の構築が急務となっています。 将来のシベリア・ランドブリッジを見据え、多目的国際ターミナルの岸壁整備を重点的に推進することにより、国際物流機能の強化が図られます。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標① 「環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大」	18	提案意見を踏まえ「港湾機能をより高めるため、国際物流ターミナルなどのハード整備や、貨物が港を出入りする時間の短縮などのソフト施策等により、効率的な輸送やコスト削減を実現する。」ことを記載。なお、伏木富山港の多目的国際ターミナル整備については主要事業として記載。	(具体的な事業) 港湾改修事業
富山県	上市町	16322-1	県境を繋ぐ幹線道路の整備等を推進すること。特に、県境道路を有していない富山県と長野県との道路整備に向けた調査等に関する取組が必要	日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化において、広域交通ネットワークの強化を図り、ブロック内外との交流を促進させるために重要な施策と考えるため	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「北陸地域内外との交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。」ことを記載予定とし、あわせて主要事業として「高規格幹線道路の整備」「地域活性化IC、スマートIC(ETC専用)の整備」等を記載。 なお、当該道路については、未事業化のため未掲載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
富山県	立山町	16323-1	白岩砂防堰堤に代表される砂防事業の重要性や、歴史的砂防施設の文化的価値の啓発とともに、大規模土砂災害に対する危機管理体制の充実を図ることが重要。	(安政5年の飛越地震を契機とした常願寺川の災害の歴史や、流域住民の生命・財産を守る砂防事業については、これまでの国や県等の取り組みによりその重要性が広く認識されつつあるが、砂防施設が目につくにくい場所に存置することから、)砂防施設として初の重要文化財となる、白岩砂防堰堤施設を学習する機会が多くあれば、砂防事業や砂防施設の重要性について更に認識が高まることが期待される。また、立山砂防のカルデラ内監視システムについては、更に源頭部の監視システムが整備されることにより、大規模土砂災害等発災時の危機管理体制が充実するとともに、住民に対する適正な避難勧告等の状況判断が可能となる。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標② 「歴史・文化を活かした個人的で魅力ある空間の創出」	10-11	提案意見を踏まえ「歴史的な資産について、地域が一体となった保全・継承を図る取り組みを支援し、個性的で魅力ある地域づくりに取り組む。」ことを記載。なお、常願寺川水系白岩砂防えん堤補強対策を主要事業として記載。	
					地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」 地方重点目標② 「情報通信技術を活用した社会資本整備の高度化」	19-20	提案意見を踏まえ「高度化する情報通信技術や地理情報システムなどの最新技術を積極的に導入し、的確かつ迅速な情報の把握・提供、交通・物流などの総合的なマネジメントなど社会資本をより効果的に活用するための施策を推進する。」ことを記載	
富山県	入善町	16342-1	橋梁等河川関係インフラの耐震補修・管理に関する重点的な取り組みが必要	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」	19	提案意見を踏まえ「社会資本の計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現を図る。」ことを記載。	
					同 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことを記載。	
富山県	入善町	16342-2	下水道等、環境インフラの整備、補修に関する重点的な取り組みが必要	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」	19	提案意見を踏まえ「社会資本の計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現を図る。」ことを記載。	
					同 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことを記載し、あわせて主要事業として「下水道施設の長寿命化」を記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
富山県	入善町	16342-3	自然と共生する海岸施設等の親水インフラの整備、補修に関する重点的な取り組みが必要	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略3 「ゆとりといたしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」	13	提案意見を踏まえ「 <u>海岸侵食対策や河川の自然再生事業、広域的なレクリエーション拠点となる国営公園などの整備を推進し、自然と住民との触れ合いの場を形成する。</u> 」ことを記載予定とし、あわせて主要事業として「 <u>海岸環境整備事業</u> 」等を記載。	
富山県	入善町	16342-4	持続可能な物流体系の構築のための、都市間交通網の整備推進、鉄道貨物の輸送力増強の推進等にむけた既存ストックの整備推進に関する重点的な取り組みが必要	地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略3 「ゆとりといたしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「 <u>都市間及び都市と農山漁村間との交流・連携を高める交通基盤を整備し、都市的サービスや多様な自然を同時に享受できる生活環境を形成する。</u> 」ことを記載。	

「地方ブロックの地方重点方針に対する意見・提案」に対する対応方針

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
石川県	金沢市	17201-1	歴史的風致維持向上計画の第1号認定を受けた金沢市では、建築物等の保存・修復や無電柱化など歴史まちづくりを推進・強化するとともに、地域独自の個性として発信していく。	金沢市は北陸圏で唯一、歴史的風致維持向上計画の認定を受けているが、こうした歴史・伝統を生かしたまちづくりを広げていくことによって、北陸圏としての個性を磨き高め、さらに発信することができるため。 なお金沢市においては、辰巳用水の修復、惣構の保存・整備、金沢方式による無電柱化の推進などに取り組んでいる。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標② 「歴史・文化を活かした個性的で魅力ある空間の創出」地方重点戦略	10-11	提案意見を踏まえ「歴史的な資産について、地域が一体となった保全・継承を図る取り組みを支援し、個性的で魅力ある地域づくりに取り組む。」ことや「歴史的な資産と調和のとれた、都市公園整備、市街地整備、道路環境整備、河川整備などの総合的なまちづくりを推進し、個性的で魅力ある空間を創出する。」こと等を記載。なお、金沢市旧城下町周辺域における地域の歴史・文化を活かしたまちづくりや「金沢城公園の整備等を主要事業として記載。	
石川県	金沢市	17201-2	金沢福光連絡道路、金沢能登連絡道路、金沢外環状道路など地域間の道路網整備を重点的に推進すること。	○ 金沢福光連絡道路は、金沢市と南砺市が古くからのつながりを有しているにもかかわらず、冬期間は通行止めとなるルートであり、今後、豊富な観光資源の活用や都市と山村との交流促進、東海北陸自動車道との連結による物流機能の強化、災害時の緊急輸送路など、連携・交流を通じた一層の活性化には必要不可欠であるため。なお両市は、加賀藩における塩硝の道や文化面でのつながりをはじめ、首長レベルによる行政・議会間の定期的な懇談会の開催、災害時の相互応援協定の締結や住民間の交流事業などさまざまな取り組みを進めている。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「都市間及び都市と農山漁村間との交流・連携を高める交通基盤を整備し、都市的サービスや多様な自然を同時に享受できる生活環境を形成する。」ことを記載。 なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	
				○ 金沢能登連絡道路は、県都金沢と能登地域の連携強化を図る幹線道路であるが、金沢市及び内灘町の住宅街を縦断していることもありピーク時には慢性的な混雑・渋滞が発生しており、さらに当該道路は、金沢港(大野地区)多目的国際ターミナルへのアクセス向上にもつながり、広域的な交通・物流基盤として早急な対応が必要不可欠であるため。なお金沢市においては、県・地元関係者・学識経験者からなる金沢港周辺地域まちづくり協議会を設け、この地域の方向性について検討したところである。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9 10	提案意見を踏まえ「主要な港湾・空港と高速交通ネットワークとのアクセス性を向上させる。」ことを記載 なお、金沢能登連絡道路については、重点目標2-①の主要事業として記載。	
				○ 金沢外環状道路は、平成18年4月に山側環状が開通したことにより、市中心部の渋滞が緩和されるなど大きな効果が上がっていることから、金沢市を中心とする都市圏が一体となり活力ある地域づくりを進めるために必要不可欠であるため。なお金沢市においては、土地区画整理事業や街路事業で海側環状の整備を進めているところである。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	提案意見を踏まえ「バイパスや立体交差の整備、騒音対策等、道路の状況に応じて、環境負荷の軽減や生活環境への影響軽減に向けての適切な取組を進める」ことを記載。なお、金沢外環状道路(国道159号金沢東部環状線及び国道305号海側幹線)を主要事業として記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
石川県	七尾市	17202-1	「観光圏」の認定による自治体連携の観光誘客の取り組みを重点的に支援すること	地域を活性化する事業として「観光圏」の取り組みを記載する。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見も踏まえ、社会資本整備の取り組みとして「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載。	
石川県	小松市	17203-1	国道360号(白川・小松間)の道路整備に関する重点的な取り組みが必要。	国道360号(白川・小松間)の道路整備により、信頼性の高い循環型ネットワークを構築すると共に新たな観光・産業などの広域連携が創出されることが期待される事から、地方が目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」	10	提案意見を踏まえ「国内外観光客の利便性の向上、多様で魅力的な観光ルートの創出に向けた地域交通ネットワークの強化・・・」を記載。	道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。
					同 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、・・・観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載し、あわせて主要事業として地域高規格道路の整備を記載。 なお、当該路線は未事業化のため、未掲載。	
石川県	羽咋市	17207-1	地域交通ネットワークを構成する幹線道路網を連結する整備を重点的に推進すること	幹線道路網が本来的に具備している広域交流機能を阻害しているボトルネック箇所の整備を優先的に推進することにより、効果的に地域内外のアクセス性が飛躍的に高められ、地域の活性化、発展が図られる。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化進」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18-19	提案意見を踏まえ「北陸地域内外との交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める」ことや「高速交通ネットワークをさらに活用していくため、IC(インターチェンジ)や空港、新幹線駅等と都市中心部とのアクセス性を高める。」こと等を記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
石川県	かほく市	17209-1	道路整備事業の重点的、効果的かつ効率的な事業実施に向けた取組が必要 【提案】国道159号自転車歩行者道路整備に地域住民の声を反映した事業推進	本市では、昨年12月から3月にかけて沿線住民等代表者による「国道159号の自歩道整備方針に向けた意見交換会」を3回開催し、両側歩道3.5mを備えた道路整備幅員・優先整備区間など当該路線の今後の整備方針が参加者から次のとおり示されました。 【道路整備幅員】県立看護大学前交差点より金沢側でW=18.0m、二ツ屋側をW=17.5m。 【優先整備区間】整備中含む13区間で残る11区間を最優先整備(A)4区間、優先整備区間(B)4区間、整備区間(C)3区間とし、沿線地権者の協力体制が整った地域から計画的に事業実施。 【都市計画道路】計画幅員W=22.0m⇒W=18.0mに変更、未決定区間の都市計画決定に関する調査検討。以上の整備方針を基に一体的かつ計画的な事業化により地域の活性化、安全・安心の確保と伴にコストの縮減が図れる。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	11-12	提案意見を踏まえ「交通事故の危険性の高い地点での安全対策の集中的な実施、規格の高い道路と幹線道路、生活道路の利用割合の適正化を図る交通誘導等により、交通事故の減少を図る。」ことや「市街地部の生活道路では、歩行者優先の道路整備や無電柱化を進め、安全な歩行空間を形成…」することを記載。 なお、国道159号かほく市内自歩道設置を主要事業として記載。	
					地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」 地方重点目標① 「多様な主体との連携・協働の推進」		提案意見を踏まえ「積極的かつ分かりやすい広報や情報提供等を進めるとともに、地域住民、NPO等、多様な主体の参画や連携・協働により施策・事業を推進する。」ことを記載。	
石川県	かほく市	17209-2	生活幹線道路ネットワークの形成に関する重点的な取組が必要 【提案】地域の実情に即した幹線道路網計画に基づく事業推進に財政措置を図る必要がある。	合併で誕生したかほく市は、金沢から20km圏の地方都市でありながら、南北に縦断するJR七尾線で地域間が分断されている。合併を機に石川県が本市の中央部を東西に結ぶ合併支援道路(東西幹線道路)事業を行い、本市は市道宇気23号線を整備する。生活環境の向上を図るうえで緊急車両の到達時間短縮などの効果を最優先とする幹線道路網整備計画事業に特段の財政措置等を講じるべきである。成果として交通安全・防災・環境面などまちづくりの推進が図れる。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安全で安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ、「市街地部の生活道路では、歩行者優先の道路整備や無電柱化を進め、安全な歩行空間を形成し、あわせて中山間地の生活道路では、その地域での位置付けや沿道の状況、高齢社会などの社会環境に応じた整備・維持管理を行う。」ことを記載。 なお、財政措置については全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	
石川県	かほく市	17209-3	下水道事業の継続性の確保に向けた取組が必要 【提案】下水道の安定的な経営に考慮した事業推進	本市では、合併前の旧3町時代に、下水道の普及を早期に図るため、2箇所の公共下水道処理場と、15箇所の農業集落排水処理場を建設した。近年施設の老朽化による修繕費の増加により、下水道の経営は財政的に厳しい状況です。他都市も同様かと思いますが、起債償還が完了する前に、更新工事に着手しなければならず、さらに経営を圧迫することとなっております。 このような状況を踏まえ、経営の厳しい地方都市(小規模下水道)への支援強化を提案します。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取り組み」 同 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	18	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことや「各管理者が連携して取り組む」こと等を記載し、あわせて主要事業として「下水道施設の長寿命化」を記載。 なお、経営支援については全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
石川県	かほく市	17209-4	<p>海岸浸食に対する防護に向けた継続的な取り組みが必要 【提案】景観と防災上から考慮した護岸・養浜事業の継続的な事業推進の責務</p>	<p>【浸食対策】かほく市は、能登半島の中央に位置し、海岸延長11kmは白砂青松地として地域固有の財産であります。その砂丘地の海岸線付近では、地球の温暖化等が原因とみられる海面上昇や台風襲来により砂浜が消滅しております。これまで石川県施工により養浜事業を進めておりますが、現状の事業推進内容では、地域住民の生命財産が脅かされるだけではなく、石川県が推進する「ダブルラダー結いの道」整備構想の南北路線である能登有料道路の崩壊の恐れ、並びに、国土の喪失が進みます。</p> <p>また、県管理の本市海岸線付近が遠浅海岸として地域固有の優れた沿岸資源と認識しており、当該沿岸部の保全整備については、地方自治体の裁量だけでは良好な海岸線・景観を保持することも到底及ばぬところであります。</p> <p>人口リーフ等の構造物による海岸保全施設の計画的整備を一層推進することと並行して、国5/10・県5/10の事業費負担割合を見直し、国の負担割合を増大するよう提案します。</p>	<p>地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震・高波等の自然災害の克服」 地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」</p>	15	<p>提案意見を踏まえ、重点目標4-①では「風水害、土砂災害、地震や津波、雪害、波浪(高波)災害、高潮災害、海岸侵食、流木被害などへの防災・減災対策に取り組み…」ことを記載。</p> <p>また、重点目標3-⑤では、「<u>海岸侵食対策や河川の自然再生事業、広域的なレクリエーション拠点となる国営公園などの整備を推進し、自然と住民との触れ合いの場を形成する。</u>」ことを記載。</p> <p>なお、事業負担割合については、全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。</p>	
石川県	白山市	17210-1	<p>(仮称)白山インターチェンジの整備促進を要望する。</p>	<p>(仮称)白山インターチェンジは、北陸自動車道と現在整備中の金沢外環状道路(海側幹線)を連結することから、周辺工業団地等の物流機能が向上し、さらに、今年3月28日からの高速道路料金値下げにより、今後、高速道路利用者が増えることから、交通の円滑化を図るため、整備促進は必要不可欠です。</p>	<p>地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」</p>	9	<p>提案意見を踏まえ「<u>産業活動の活性化を支援するための工業団地等へのアクセス、情報通信基盤の整備や食料、水、エネルギーの安定供給につながる基盤の整備を進める</u>」ことを記載。</p> <p>なお、白山ICを主要事業として記載。</p>	<p>道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。</p>

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対処方針			備考
					対応箇所	ページ	対処方針	
石川県	穴水町	17461-1	「道路」は、地域の住民の安全・安心の確保や経済・社会活動を支える基礎的な社会基盤で、特に穴水町においては、広い面積、集落の拡散、のと鉄道の廃止(平成17年3月)により、多様な交通手段を有する大都市圏とは異なり、移動に当たっては、自動車に頼らざるを得ないため、今後とも着実に整備を進めていくことが必要であり、そのためには安定的な財源を確保していくことが不可欠であります。そのため、道路整備に必要な財源を確保し地方への配分割合を高め、地方道路整備臨時交付金につきましても、地方が主体的に道路整備が行えるような財源を確保し拡充していただきたい。			-	財源等については、全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付けで道路局長あてに提出したのと同じ。

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
福井県	小浜市	18204-1	近接する都市への公共交通基盤の整備を重点的に取り組んでほしい	地域活性化を進める上で近隣の都市圏へと通ずる交通基盤の整備が必要のため	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ、「高度な都市機能や、都市的サービスを利用しやすくするために、多様な機能が集積する、都市中心部へのアクセス性を高める交通基盤の整備を推進する。」ことを記載。	
福井県	小浜市	18204-2	歴史・文化を活かした地域づくりの重点的な推進	小浜市において重要伝統的建造物群保存地区に選定された地域の事業を進めているため	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標② 「歴史・文化を活かした個性的で魅力ある空間の創出」 地方重点戦略	10-11	提案意見を踏まえて「歴史的な資産について、地域が一体となった保全・継承を図る取り組みを支援し、個性的で魅力ある地域づくりに取り組む。」ことや「歴史的な資産と調和のとれた、都市公園整備、市街地整備、道路環境整備、河川整備などの総合的なまちづくりを推進し、個性的で魅力ある空間を創出する。」こと等を記載し、あわせて主要事業として、「地域の歴史・文化を活かしたまちづくり」や「都市公園の整備」を記載。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	
福井県	大野市	18205-1	①高規格道路網整備(中部縦貫自動車道)	①高規格道路網整備(中部縦貫自動車道) 国土の東西軸強化につながる真に必要な道路であり、交流促進、産業発達、3次救急医療施設へのアクセス、物流ルート確保、防災時の代替交通機能や環白山広域観光など広域的な周遊観光ルート形成に資するため早期整備が必要。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」 地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	10 18	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載。なお、「中部縦貫自動車道の整備」を重点目標2-①及び5-②の主要事業として記載。	【意見・提案欄】には、「道路事業に関する目標等については、成20年10月20日付けで道路局長あて「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」で同趣旨提出済。」としてあり、同提案が同報されていたため、当該意見・提案を本表の【意見・提案内容】に記載
福井県	大野市	18205-2	②生活幹線道路の整備と除雪経費の補助	高齢化・過疎化による山村地域振興対策、通学の安全安心確保対策として必要不可欠であり、特に豪雪地地域である本市では、道路除雪経費確保も必要である。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「中山間地の生活道路では、その地域での位置付けや沿道の状況、高齢社会などの社会環境に応じた整備・維持管理を行う。」ことを記載。なお、補助については、全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
福井県	大野市	18205-3	③地方公共交通機関の支援	高齢化対策、地球温暖化防止策等に不可欠であり、支援制度、整備促進が必要。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標① 「快適な生活空間の形成と都市の再生」	11	提案意見を踏まえて「主要な駅等における交通機関相互の乗り継ぎ・乗り換えの効率化、駅周辺の道路や駅前広場、自由通路等の整備を進め、都市内公共交通機関の利便性を向上させる。」ことを記載。なお、「公共交通機関の利用促進」や「地域公共交通活性化・再生」を主要事業として記載。	
福井県	大野市	18205-4	④国・県道の見直し	広域的な交流が必要であり、国・県道の見直しを行い整備促進を図る必要がある。		-	道路管理区分見直し等については、全国的な制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	
福井県	大野市	18205-5	【近畿ブロック】 近畿ブロックにおいても日本海側地域を有しており、『 <b>雪国の生活、交通の安定性、雪に強いまちづくり</b> 』を推進していく必要がある。	豪雪地帯では雪によるハンディキャップを多く抱えており、その解消は国土保全のためにも重要であり、近畿ブロックの地方重点方針に加える必要がある。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標② 「雪国の生活、交通の安定性の向上」	16	北陸ブロックでは、重点目標として、左記を設定。	近畿ブロックへの意見
福井県	鯖江市	18207-1	農業集落排水施設を公共下水道施設に統合するために必要な制度を創設すること	農業集落排水事業は、近年の宅地造成による生活雑排水の増加と水質の悪化、初期の処理施設の老朽化の進行による維持管理が問題となっており、公共下水道の排水施設に統合することで、放流水質レベルの維持の観点から、省庁を超えた統合制度創設が必要である。	重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」 地方重点目標③ 「計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現」	20	提案意見を踏まえ「今後、集中する構造物の更新時期を平準化し、維持管理から更新までのトータルコストの縮減等を図るため、アセットマネジメントシステムを導入する。」ことを記載し、主要事業として「下水道施設の長寿命化」を記載。なお、集落排水と公共下水道の一体的管理運営については、制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	
福井県	あわら市	18208-1	北陸経済圏と関西経済圏を結ぶ陸上輸送の大動脈である国道8号の4車線化・バイパス整備への重点的な取組みが必要	福井県と石川県の県境を結び、地域の産業・生活・文化を支えている幹線道路であり、近隣観光地との連携による新たな観光ルートの創出など地域活力の向上を図るため、近接する都市へのアクセス性を高める交通基盤の整備が求められている。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ「主要な港湾・空港と高速交通ネットワークとのアクセス性を向上させる。」ことを記載し、主要事業として「主要幹線道路の整備」を記載。なお、個別・具体の事業については地域を代表する事業を記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
福井県	あわら市	18208-2	北陸圏と首都圏を結び、東海道新幹線のバイパス補完機能を有する北陸新幹線整備への重点的な取組みが必要	あわら温泉、東尋坊、永平寺など福井県嶺北地方の観光地へのアクセス拠点であるJR芦原温泉駅(北陸新幹線駅設置)を中心としたまちづくりを推進するにあたり、北陸新幹線整備計画との整合性を図り対応することにより費用対効果を高める必要がある。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	17-18	提案意見を踏まえ「整備新幹線については、政府・与党申合せ等に基づき、着工区間の着実な整備を図るとともに、これ以外の区間についても所要の事業を進める。」ことを記載し、あわせて主要事業として「整備新幹線の整備」を記載。	
福井県	あわら市	18208-3	小規模河川の氾濫の危険性を低減するため、河川改修への支援強化が必要	異常気象などの災害リスクが増加する中、市民の生命や財産を守るため、準用河川等の改修、洪水ハザードマップの作成など総合的な対策を推進する必要がある。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「都市機能の麻痺による社会への影響が大きい都市型水害に対して、下水道整備と都市河川事業との連携を強化し、安全度を向上させる。」ことや「防災への意識・関心を高め、避難体制を強化するため、洪水、土砂災害、高波、津波、火山噴火による被害予想区域等のハザードマップを作成・公表する。」こと等を記載。	
福井県	坂井市	18210-1	地球温暖化に伴う大雨の頻度の増加や、台風が強大化する中、災害から住民の生命・財産・社会経済活動を守り国民生活に不可欠な多様な水利用の安定化を図るため、河川改修(一級河川の竹田川・兵庫川・磯部川)の早期の取り組みが重要である。	災害から住民を守るため、災害を未然に防ぐ予防対策が不可欠であり、平常時から河川の整備・維持管理を行うことが重要である。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」	14	提案意見を踏まえて「風水害、土砂災害・・・などへの防災・減災対策に取り組み・・・人々の生活の安全・安心を確保し、地域の産業・経済活動を維持する。」ことを記載。	
					同 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	14-15	主要事業として、「河川整備事業」を記載。なお、個別・具体の事業については、地域を代表する事業を記載。	
福井県	坂井市	18210-2	産業・経済のグローバル化に対応すべく、環日本海諸国をはじめとする東アジアなどへの国際物流の拠点となる港湾整備(福井港)と貨物輸送に供するための港湾と北陸自動車道インターチェンジとを結ぶ幹線道路の整備について、重点的な取組みが必要である。	日本海側の交流拠点の連携強化と環日本海諸国との国際交流の拡大を図るための地方を代表する主要な施策である。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえて「主要な港湾・空港と高速交通ネットワークとのアクセシビリティを向上させる。」ことを記載予定。なお、福井港海岸の整備については、重点目標4-①の主要事業として記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
福井県	永平寺町	18322-1	中部縦貫自動車道の早期建設・開通について (永平寺大野道路の早期全線開通) (大野油坂道路の速やかな事業着手)	同自動車道は、本県と大都市圏との交流や地域連携の強化を促進し、経済の活性化を図る上で必要不可欠な路線であり、本町における観光客の誘客、並びに中京圏からの企業立地が推進される可能性を秘めている。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載。なお、「中部縦貫自動車道の整備」を重点目標2-①及び5-②の主要事業として記載。	
福井県	永平寺町	18322-2	企業立地情報の共有・提供	本町においては、小学校廃校跡地があり、縫製工場やコールセンター等広いスペースを必要とする企業誘致に充分対応できると考えています。本来町自体が積極的に誘致をすべきではありませんが、情報が少なく対応できない現状です。国・県よりの情報の提供が出来ないでしょうか。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ、社会資本整備の分野では「産業活動の活性化を支援するための工業団地等へのアクセス、情報通信基盤の整備や食料、水、エネルギーの安定供給につながる基盤の整備を進める。」ことを記載。	
福井県	永平寺町	18322-3	観光立町の推進	近畿圏・中京圏よりのアクセス整備(短縮化)を図ることにより、落ち込んでいる誘客数の増をお願いしたい。また、東アジアからの観光客を都市圏に留めるのではなく、地方都市への滞在を考慮願いたい。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ、社会資本整備の取り組みとして「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載。	
福井県	池田町	18382-1	国道417号に関する重点的な整備が必要	北陸圏南部(福井県)と中部圏を最短距離で結ぶ国道417号の冠山トンネルを重点的に整備することにより、東海地震等緊急時の広域防災、災害応援のネットワークが構築できるとともに、本圏域と中部圏、近畿圏との広域観光ルートが整備できるため。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10 12	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載予定とし、あわせて主要事業として「主要幹線道路の整備」を記載 なお、国道417号冠山峠道路については重点目標3-③の主要事業として記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
福井県	池田町	18382-2	九頭竜川水系足羽川上流域の重点的な整備が必要	平成16年福井豪雨のような災害に対処するため、足羽川上流域の河川整備事業、砂防事業、治山事業を計画的、一体的に整備し防災に努めることが肝要であるため。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15-16	提案意見を踏まえて「風水害、土砂災害・・・などへの防災・減災対策に取り組み・・・人々の生活の安全・安心を確保し、地域の産業・経済活動を維持する。」ことを記載予定し、主要事業では、「河川整備」「砂防事業」「ダム事業」等を記載。 なお、足羽川ダム建設事業を主要事業として記載。	
福井県	池田町	18382-3	足羽川流域水環境保全に関する重点的な取り組みが必要	足羽川流域全体の健全な水環境を保全するためには、本町に整備してある、特定環境保全公共下水道処理施設と農業集落排水処理施設を統廃合する必要があるため。	地方重点戦略3 「ゆとりといたしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生」	13	提案意見を踏まえて「現在の豊かな水環境や美しい水質を保全するため、引き続き、新たな水環境の創出や改善活動の支援、下水道整備等の推進による生活環境等の改善を行う。」ことを記載し、あわせて「良好な都市環境に資する下水道事業」を主要事業として記載。 なお、集落排水と公共下水道の一体的管理運営については、制度のあり方を含め検討されるべき内容である。	
福井県	若狭町	18501-1	広域交通基盤の強化に関する重点的な取り組みが必要	若狭町においては、福井県嶺南地域と滋賀県湖西地域を結ぶ「琵琶湖若狭湾快速鉄道」の早期実現を目指している。この鉄道は、福井県、滋賀県と京阪神地域との連携強化、振興発展に欠かせない重要な役割を担うものである。この鉄道の実現により、北近畿における広域鉄道ネットワークが確立されるとともに、関西圏、滋賀県、福井県嶺南地域、京都府北部を含めた日本海経済圏が構築されるなど、広域的に多くの波及効果をもたらすものである。高規格幹線道路網の活用及び広域鉄道ネットワークの整備による広域交通基盤の強化により、関西圏との交流軸が強化され、産業の振興にも寄与することから、地方の課題や目指すべき将来像に照らして、地方を代表する主要な施策であるため。		-	新規鉄道路線については、計画期間中に整備が見込まれるものを記載。	

「地方ブロックの地方重点方針に対する意見・提案」に対する対応方針

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
山形県	小国町	06401-1	<p>B/Cだけでなく物流や救急医療における必要性など地域の実情を総合的に評価すべきである。</p> <p>地域高規格道路である新潟山形南部連絡道路の早期完成など、地域の状況に応じた道路政策の展開を望むものである。</p>	<p>経済的な効果のみを評価することになれば、厳しい地理的条件や人口の少ない本町のような地域では、新たな道路を整備すること極めて困難になり国土の均衡ある発展は望めない。</p> <p>活力ある地域の構築を図るためには、市町村道から高規格道路に至る道路ネットワークの形成が必要不可欠である。</p>	<p>地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」</p>	12-13	<p>提案意見を踏まえ、「都市間及び都市と農山漁村間との交流・連携を高める交通基盤を整備し、都市的サービスや多様な自然を同時に享受出来る生活環境を形成する。」ことを記載。</p> <p>また、新潟山形南部連絡道路については、主要事業として記載するが、現在再評価に向けた検討を行っている旨も併記する。</p>	<p>道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。</p>

「地方ブロックの地方重点方針に対する意見・提案」に対する対応方針

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
福島県	会津若松市	07202-1	地域高規格道路会津縦貫北・南道路の整備促進に関する重点的な取組が必要。	会津地方の気象条件、全国平均を上回る高齢化の進展や高度医療施設60分カバー圏外である現状、さらには、会津地域の持つ固有の文化や豊かな自然環境を活かした広域観光圏の構築など、これらの課題の解消や、「強く美しい東北」という将来像に照らし、会津地方における自立した地域経済圏を構築するため、相互連携の強化が必要不可欠な主要な施策であるため。			首都圏及び東北圏での記載対応のため、掲載予定なし。	道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。

「地方ブロックの地方重点方針に対する意見・提案」に対する対応方針

別添様式

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
長野県	上田市	20203-1	首都圏との連携に関する道路整備として上信自動車道に関する重点的な取り組み(全線の整備区間指定と県内分の着工)が必要。	中部圏広域地方計画中間整理の第5章「北陸圏等の連携」、第3節「東北・首都・近畿圏との連携」に係る重要な事業である。			中部圏での記載対応のため、掲載予定なし	道路事業に関する目標等については、平成20年10月17日付け土木第186号で道路局長あてに提出したものと同一。

## 「地方ブロックの地方重点方針に対する意見・提案」に対する対応方針

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
岐阜県	高山市	21203-1	1. 災害に強い中部(安全・安心) ④災害・事故に係る情報提供や災害対応体制を強化します。 火山観測	火山防災は、噴火の予測が困難でありその範囲も地方自治体の区域を越えて広範囲に及ぶため、火山観測体制の強化、火山噴火緊急減災対策砂防計画に基づく対策施設整備等が必要である。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15 20	提案意見を踏まえ「防災への意識・関心を高め、避難体制を強化するため、洪水、土砂災害、高波、津波、火山噴火による被害予想区域等のハザードマップを作成・公表する。」ことを記載。 また、焼岳リアルタイム火山ハザードマップを主要事業として記載。	
岐阜県	高山市	21203-2	1. 災害に強い中部(安全・安心) 総合的な土砂災害対策に関する取り組みが必要	土砂防止法に基づく土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域指定に伴う災害時要援護者施設等が立地する危険箇所の整備、孤立集落対策などハード・ソフト対策を連携させた災害防除対策が必要である。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標① 「風水害、土砂災害、地震等の自然災害の克服」	15	提案意見を踏まえ「防災への意識・関心を高め、避難体制を強化するため、洪水、土砂災害、高波、津波、火山噴火による被害予想区域等のハザードマップを作成・公表する。」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-3	2. 活力ある中部(強い競争力) ②国内交通ネットワークを強化し、スムーズな移動を可能にします。 農林水産物の価格が低迷する中で、流通の効率化を図るため交通ネットワークの強化が必要	東海北陸自動車道は、北陸圏と中部圏を結ぶ交通ネットワークを形成するうえで根幹をなしており、必要かつ重要な道路であり、4車線化に向けた取り組みが必要である。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ「産業活動の活性化を支援するための工業団地等へのアクセス、情報通信基盤の整備や食料、水、エネルギーの安定供給につながる基盤の整備を進める。」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-4	2. 活力ある中部(強い競争力) ②国内交通ネットワークを強化し、スムーズな移動を可能にします。 地域産業の活性化、広域観光ルートによる連携強化を図るため交通ネットワークの強化が必要	中部縦貫自動車道は、関東、中部、北陸地方の広域的、一体的発展が大きく期待され、中部縦貫自動車道の事業促進が必要である。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。」ことを記載。 なお、「中部縦貫自動車道の整備」を主要事業として記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
岐阜県	高山市	21203-5	2. 活力ある中部(強い競争力)	高山市は、起伏が激しく交通の便が悪い ため、地域からの迅速な救急搬送の 対応が求められており、災害時にお ける孤立集落対策、豪雪時の救急搬送 対策など災害を克服し、暮らしの安心 を得るためにも導入支援が必要である。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれ る人をひきつける暮らしの 充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮ら せる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「第3次救急医療施設 への所要時間短縮に向けた、高規格幹 線道路等の整備を行う。」ことを記載。	
					地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な 国土の実現」 地方重点目標② 「雪国の生活、交通の安定 性の向上」	16	提案意見を踏まえ「降積雪による生活 行動の制約や渋滞の発生等、雪による ハンディキャップの無い地域づくりに向 けて、防雪・除雪対策のより一層の支 援・充実を図る。」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-6	2. 活力ある中部(強い競争力) 森林等の自然環境を活かした新たな産 業の創出に関する取り組みが必要	中部圏域は多くの森林資源等を有して おり、間伐材等を活用した新たな産業の 創出を図ることによる活力ある中部を創 出するため必要である。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだもの づくり文化で培われる国際 競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による 産業活動の活性化」	9	提案意見を踏まえ社会資本整備では、 「産業活動の活性化を支援するための 工業団地等へのアクセス、情報通信基 盤の整備や食料、水、エネルギーの安 定供給につながる基盤の整備を進め る。」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-7	2. 活力ある中部(強い競争力) 農林水産物の価格が低迷するなか、流 通改革の取り組みが必要	消費者ニーズにマッチした流通・販売 ルートの拡大の促進だけではなく、農家 の農業収入を確保するための抜本的な 流通改革(直接販売のシェア拡大)が必 要である。	地方重点目標① 「交流・連携の拡大による 産業活動の活性化」			
岐阜県	高山市	21203-8	3. 自然と共生する中部(環境・景観) ①地球温暖化を抑制するための温室効 果ガスの削減を推進します。 生物多様性を保全するため、外来生物 除去に対する取り組みが必要	高山市は、白山国立公園、中部山岳国 立公園を有しており特別天然記念物の ライチョウをはじめ、高山植物など貴重 な動植物の宝庫となっているが、外来 生物の影響による自然保護上大きな問 題となっている。生物多様性の保全を推 進するため、外来植物対策の強化が必 要である。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれ る人をひきつける暮らしの 充実」 地方重点目標④ 「明瞭な四季や変化に富 んだ地形がもたらす美しく 豊かな自然との共生」	14	提案趣旨も踏まえ社会資本整備では、 「地域と連携して自然環境を保全・再生 する活動や、自然との共生を目指す地 域づくり活動の創出や支援を行う。」こ とを記載。	
岐阜県	高山市	21203-9	3. 自然と共生する中部(環境・景観) ④美しい自然環境を保全・創出し、多様 な生態系を維持・再生します。	新たな産業・新たな雇用創出、地球温 暖化防止等、バイオマスの発生から利 用までが効率的な総合的利活用システ ム(バイオマスタウン)の構築が必要で ある。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれ る人をひきつける暮らしの 充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽 減と環境の改善」	14	提案意見を踏まえて「CO2削減や省エ ネルギー化の推進に向けて、屋上緑化 や自然エネルギーの活用等に配慮した グリーン庁舎の整備・改修等の取り組 みを進める。」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
岐阜県	高山市	21203-10	3. 自然と共生する中部(環境・景観) ①地球温暖化を抑制するための温室効果ガスの削減を推進します。 ③ごみの発生抑制・循環型社会の構築を支援します。	新たな産業・新たな雇用創出、地球温暖化防止等、バイオマスの発生から利用までが効率的な総合的活用システム(バイオマスタウン)の構築が必要である。	地方重点戦略3 「ゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標⑤ 「地球環境への負荷の軽減と環境の改善」	14	提案趣旨も踏まえ社会資本整備では、「建設副産物リサイクルを進めるとともに、「静脈物流ネットワーク」の構築に資する港湾の整備や廃棄物埋立護岸の整備等を推進する。」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-11	4. 交流が活発な中部(交流・連携) ①人・モノ・情報の交流を拡大・活発化します。 誰もが観光を気軽に楽しむことのできるよう情報通信技術を活用した移動支援等、観光情報のバリアフリー化が必要	外国人観光客、障がい者、高齢者等に対し、情報通信技術を活用した移動支援等、誰もが観光を楽しむことのできる観光情報のバリアフリー化の取り組みが必要である。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「内外の観光客の移動円滑化を図るため、標識などのハード整備や情報通信技術を活用したソフト対策により、情報のバリアフリー化に取り組む。」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-12	4. 交流が活発な中部(交流・連携) ①人・モノ・情報の交流を拡大・活発化します。 ユビキタス・ネットワーク技術を活用した観光情報の提供に対する取組みが必要	観光スポット等、場所情報システムを活用した観光情報システムの構築が必要である。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見も踏まえ、「 <u>デジタル・ジャパン・キャンペーンの推進のほか、観光の振興や関連活動の支援のため、情報発信や人の交流の拡大を促進する拠点を形成する。</u> 」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-13	4. 交流が活発な中部(交流・連携) ①人・モノ・情報の交流を拡大・活発化します。 北陸圏と中部圏の魅力的な観光ルート、国際競争力のある物流機能や人的交流機能等高速交通ネットワークのアクセスを推進することが必要	能登自動車道は、北陸圏と中部圏を結ぶ交通ネットワークを形成するうえで国際的な物流、人的交流機能を有しており、必要かつ重要な道路であり更なる整備促進が必要である。	地方重点戦略「2. 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「 <u>北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。</u> 」ことを記載。なお、金沢能登連絡道を主要事業として記載。	
岐阜県	高山市	21203-14	4. 交流が活発な中部(交流・連携) ②社会基盤整備で都市機能を高度化し、各地域の自立を促進します。 道路ネットワークは国民生活や経済活動を支える総合的なインフラであり、着実な整備が必要	各地域の強みを発揮しながら活力を維持増進していくためには高規格幹線道路や地域高規格道路など都市圏間道路ネットワークのほか、広域連携ネットワーク道路の整備が必要である。	地方重点戦略5 「日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化」 地方重点目標② 「日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携」	18	提案意見を踏まえ「 <u>北陸地域内外の交流・連携を促進・支援するため、高規格幹線道路や地域高規格道路、空港等の高速交通ネットワーク等の整備を進める。</u> 」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-15	4. 交流が活発な中部(交流・連携) ③中山間地や農山漁村の地域活力を向上し、各地域の自立を促します。	農家の高齢化や後継者不足を抱える中山間地地域では、耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されており、農地管理の視点に立った支援が必要である。	地方重点戦略1 「進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成」 地方重点目標① 「交流・連携の拡大による産業活動の活性化」	9	提案趣旨も踏まえ社会資本整備では、「 <u>産業活動の活性化を支援するための工業団地等へのアクセス、情報通信基盤の整備や食料、水、エネルギーの安定供給につながる基盤の整備を進める。</u> 」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
岐阜県	高山市	21203-16	4. 交流が活発な中部(交流・連携) ③中山間地や農山漁村の地域活力を向上し、各地域の自立を促します。	地域がもつ自然や文化などの豊富な資源を活かし、多様なニーズに対応した魅力ある体験メニューにより都市圏との交流による地域経済の活性化を図ることが必要である。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標② 「歴史・文化を活かした個性的で魅力ある空間の創出」	10	提案意見を踏まえ「 <u>歴史的な資産について、地域が一体となった保全・継承を図る取り組みを支援し、個性的で魅力ある地域づくりに取り組む。</u> 」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-17	4. 交流が活発な中部(交流・連携) ④独自の地域資源を活用し、観光など地域の魅力を向上します。	高山市においては、近年の経済不況から伝統的地場産業の衰退が懸念され課題となっている。広域的な観点から人材の育成、後継者の育成などによる伝統技術に対する支援が必要である。				
岐阜県	高山市	21203-18	4. 交流が活発な中部(交流・連携) ④独自の地域資源を活用し、観光など地域の魅力を向上します。	豊かな自然環境や歴史文化施設等の観光資源を活用した広域観光を促進するため、通訳ボランティアの活動、多言語による積極的な情報発信等により外国観光客誘致に向けた取り組みが必要である。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」 地方重点目標① 「地域資源の連携による観光交流の拡大」	10	提案意見を踏まえ「 <u>北陸地域外と連絡する高規格幹線道路、新幹線、港湾、空港の整備や、観光拠点の内外を結ぶ道路の整備により、観光ネットワークを形成する。</u> 」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-19	5. 愛着の持てる中部(暮らし) ②安全で住みやすい居住環境の実現をめざします。 地域の病院、診療所施設整備、設備の充実に対する取り組みが必要	中部圏の農山漁村では、過疎化や高齢化等の進展により、地域医療体制の充実が必要である。ソフト・ハード面等総合的な支援が必要である。	地方重点戦略3 「ゆとりとやさしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案趣旨も踏まえ「 <u>第3次救急医療施設への所要時間短縮に向けた、高規格幹線道路等の整備を行う。</u> 」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-20	5. 愛着の持てる中部(暮らし) ③快適で安全に暮らせる生活圏の実現をめざします。 ユニバーサルデザインの視点に立ったバリアフリーのまちづくりが必要	高山市は、高齢者や障がいのある方など、全ての市民がくらしやすいまち、訪れる人にとっても過ごしやすいまちを基本的な理念として「安全・安心・快適なバリアフリーのまちづくり」の取り組みを推進している。 急速に進行する高齢化、また、障がい者の増加が見込まれるなか、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりが重要であり、ソフト・ハード面等総合的な支援が必要である。	地方重点戦略3 「ゆとりとやさしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標② 「だれもが安心して暮らせる生活環境の実現」	12	提案意見を踏まえ「 <u>交通結節点並びに都市公園や公共性の高い建築物、住宅のバリアフリー化を進め、誰もが安全・安心に暮らせる環境の実現を図る。</u> 」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-21	5. 愛着の持てる中部(暮らし) ③快適で安全に暮らせる生活圏の実現をめざします。 高齢化が進展する中、冬期の外出が困難な高齢者等の生活支援の取り組みが必要	公共交通の確保、施設整備(克雪住宅)、高齢者に代わって雪下ろしをするボランティアを活用するなど、重点的な支援策が必要である。	地方重点戦略4 「災害に強い安全・安心な国土の実現」 地方重点目標② 「雪国の生活、交通の安定性の向上」	16	提案意見を踏まえ「 <u>積雪・堆雪を考慮した幹線道路等の整備とともに、消融雪施設、流雪溝の整備等や雪崩対策及び克雪住宅の整備等により、雪に強いまちづくりを推進する。</u> 」ことや「 <u>ボランティアによる歩道除雪などボランティア・サポート・プログラムへの参画を呼びかけ、地域と連携して雪対策に取り組む。</u> 」ことを記載。	

都道府県名	市町村名	番号	意見・提案内容	意見・提案理由	計画提案に対する対応方針			備考
					対応箇所	ページ	対応方針	
岐阜県	高山市	21203-22	5. 愛着の持てる中部(暮らし) ③快適で安全に暮らせる生活圏の実現をめざします。	公共交通事業者におけるバス路線の廃止が相次ぐなか、公共交通の活性化・再生に向けた制度支援が必要である。	地方重点戦略3 「ゆとりとやすしにあふれる人をひきつける暮らしの充実」 地方重点目標③ 「中心都市等と周辺地域の交流・連携」	12	提案意見を踏まえ「 <u>高度な都市機能や、都市的サービスを利用しやすくするために、多様な機能が集積する、都市中心部へのアクセス性を高める交通基盤の整備を推進する。</u> 」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-23	5. 愛着の持てる中部(暮らし) ④ユビキタスネットワーク社会に対応した情報提供を進めます。 地域間情報格差につながる総合的な地域情報化の取り組みが必要	難視聴地域における地上デジタル放送受信対策等、テレビ共聴施設のデジタル化に対する支援拡充が必要である。	地方重点戦略6 「多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組」 地方重点目標② 「情報通信技術を活用した社会資本整備の高度化」	20	提案趣旨も踏まえ社会資本整備では「 <u>高度な情報通信を活用できる暮らしを実現し、地域産業のIT化を支援するために、光ファイバーネットワーク等の情報基盤の整備・活用を推進する。</u> 」ことを記載。	
岐阜県	高山市	21203-24	5. 愛着の持てる中部(暮らし) ⑤誇りや愛着を持てる協働・参加型の地域づくりを支援します。 観光地の質を高めるためホスピタリティあふれる人づくり、地域づくりに対する取り組みが必要	人々の健康志向、自然とのふれあい志向が高まる中、訪れる人々に心地よい満足感や癒しを提供するホスピタリティ(もてなし)の促進が必要である。	地方重点戦略2 「地域文化力で育まれる国内外との交流の創出」	10	提案意見を踏まえ「 <u>おもてなしの心にあふれる受入環境づくりなど、国内外観光客の満足度の高い地域づくりを進める。</u> 」ことを記載。	